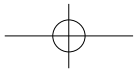
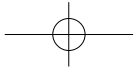


V 業績目録



1 著書・論文・投稿

著者	タイトル	出版社・書名・誌名ほか	発行年
Keitaro Fukuda, Yoshihiro Ito, Yuki Furuichi, Takeshi Matsui, Hiroto Horikawa, Takuya Miyano, Takaharu Okada, Mark van Logtestijn, Reiko J. Tanaka, Atsushi Miyawaki & Masayuki Amagai	Three stepwise pH progressions in stratum corneum for homeostatic maintenance of the skin.	Nature Communications, 15, Article number: 4062	2024年5月
Shojo K, Tanaka N, Murakami T, Anno T, Teranishi Y, Takamatsu K, Mikami S, Imamura T, Matsumoto K, Oya M.	Multiplexed Spatial Imaging at the Single-Cell Level Reveals Mutually Exclusive Expression of B7 Family Proteins. Lab Invest.	2024 Oct;104(10):102131.	2024年
森 由梨奈 山口 剛史	眼類天疱瘡	根木昭監修 眼科診療ガイド第2版、文光 堂、2024年223-224	2024年
下澤 信彦	COVID-19 におけるDMATの対応 〜ダイヤモンド・プリンセス号と神奈川県・川崎市役所の搬送調整本部〜	聖マリアンナ医科大学雑誌	2024年
三宅 博之 (共著)	日本放射線技術学会叢書 「叢書41 単純X線撮影システムの品質管理」	日本放射線技術学会	2024年
中塚 逸央	第1章 C 筋弛緩薬D 吸入麻酔薬E リバース薬	武田純三編：オペナーシング2025年春季 増刊 麻酔科医直伝！知識と実践力がイ ラストとチャートでまるごと身につく！ 超パワーアップ版！ 手術室の薬剤 114. 株式会社メディカ出版	2025年
西 智弘	それでも、安楽死の話をするのなら	晶文社	2025年3月
Saito S, Kusumi Y, Takano Y, Fukui M, Yamada M.	Effects of ethylenediaminetetraacetic acid chelation for calcific band keratopathy on corneal topography assessed by fourier harmonic analysis.	Jpn J Ophthalmol. 2025 Mar;69(2):182-187.	2025年3月
谷岡 友則 原田 裕子 金澤 寧彦 西尾 和三 好本 達司	低カルシウム血症および右心不全を呈し、中 年期に診断された22q11. 2欠失 (DiGeorge) 症 候群	内科135巻3号509～512	2025年3月

2 学会発表

演者	演題名	学会名	場所	発表日
嶋 貴 佳奈子 阿南 隆介 奥 佳代 栗原 タ子 鈴木 貴博	Raynaud現象を初発症状とした結節性多発動脈炎の一例	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会	神戸	2024年4月19日
莊所 一典 武田 利和 秋田 大字 鈴木 達也 三上 修治 茂田 啓介 安水 洋太 田中 伸之 松本 一宏 小坂 威雄 水野 隆一 陣崎 雅弘 大家 基嗣	Predictors of clinical T2 or lower to pathological T3 tumor up-staging after radical nephroureterectomy	第111回日本泌尿器科学会総会	パシフィコ横浜	2024年4月25日
藤吉 朋子 岡田 亨 山田 博昭 高松 正視 伊藤 大輔 西尾 和三 杜 ぶん林 定平 健	重症肝不全に対し肝生検で診断し得た肝アミロイドーシスの一例	第379回 日本消化器病学会関東支部例会	東京	2024年4月27日
長谷川 伶史 原田 裕子 好本 達司 杜 ぶん林 伊藤 大輔	剖検にてMINOCAによる右心破裂と考えられた1例	第695回日本内科学会関東地方会	東京国際フォーラム	2024年5月11日
西 智弘	がん患者・家族への社会的支援の今	第29回日本緩和医療学会学術集会	神戸国際展示場	2024年6月15日
嶋田 恭輔	Breast Cancer Symposium ～限 りある時間の中で～『当院にお けるジーラスタ®皮下注3.6mg ボディーポッドの運用方法につ いて』 『当クリニックにおけるジーラ スタ®皮下注3.6mg ボディー ポッドの導入と運用』	主催：協和キリン株式会社	Web配信	2024年6月25日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
下澤 信彦 中村 明穂 布間 寛章 杉 真恵 増田 香織 猫本 秀貴 満尾 有紗 橋 茉莉花 相原 茉里 横川 直人 久保田 敬乃 西 智弘 萩原 悠太 佐藤 恭子	抗がん治療が奏功し治癒したが 後遺症が遺った患者に寄り添う ～緩和ケア医の新たなミッション～	第29回日本緩和医療学会学 術集会・第37回日本サイコ オンコロジー学会総会合同 学術集会	神戸国際 展示場	2024年6月15日
小川 優人 山田 博昭 高松 正視 伊藤 大輔 西尾 和三 杜 ぶん林	肝膿瘍を契機に診断された肝細胞癌の一例	第68回 神奈川県消化器病 研究会	横浜	2024年7月6日
木村 萌美 力武 七瀬 浅野 崇浩 矢島 祥介 村岡 渡	開口障害を契機に診断に至った限 局皮膚硬化型全身性強皮症の1例	第37回日本顎関節症学会総 会・学術大会	徳島県徳 島市	2024年7月13日
古市 祐樹 橋本 可奈子 中島 由紀子 安西 秀美	BCG膀胱内注入療法を介助した 看護師に生じたMycobacterium bovis BCGによる左環指真正皮膚 結核の1例	日本皮膚科学会西部支部学 術大会	徳島	2024年9月7日 2024年9月8日
橋本 可奈子 古市 祐樹 土屋 茉里絵 安西 秀美	フルスルチアミン塩酸塩注射液に より両下腿皮膚潰瘍を生じた1例	第88回 日本皮膚科学会東部 支部学術大会	宮城	2024年9月14日
桑野 柚太郎 滝本 千恵 一條 真梨子 前田 麻実 安井 雅晴 杜 雯林	①副腎腫瘍から原発性アルドステ ロン症の診断となった一例	第54回日本腎臓学会東部 学術大会	ライト キューブ 宇都宮	2024年9月28日
桑野 柚太郎 滝本 千恵 一條 真梨子 前田 麻実 安井 雅晴	②慢性腎不全の管理中に後天性 第Ⅴ因子欠乏症を来した一例	第54回日本腎臓学会東部 学術大会	ライト キューブ 宇都宮	2024年9月29日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
印南 真紀	食べたいと強く希望する高齢終末期患者への関りから生じた看護師の感情の変化について	日本エンドオブライフケア学会 第7回学術集会	金沢	2024年10月13日 2024年10月14日
岩橋 洋祐 中島 由紀子	免疫正常者でのサイトメガロウイルス再活性化をきたした一例	第73回日本感染症学会東日本地方会学術講演会・第71回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会	東京ドームホテル	2024年10月19日
力武 七瀬 木村 萌美 浅野 崇浩 村岡 渡	三叉神経痛患者の疼痛構造化問診による臨床的検討	第29回日本口腔顔面痛学会学術大会	東京都千代田区	2024年11月30日
永塚 杏 中島 由紀子 岩橋 洋祐 中野 泰 西尾 和三	非典型的な多発嚢胞病変を呈したHIV合併ニューモシスティス肺炎の一例	第702回日本内科学会 関東地方会	東京国際フォーラム	2025年2月8日
梅本 真太郎 中野 泰 野口 陽平 渡辺 温子 渡邊 素子 中垣 達 西成田 詔子 西野 誠 亀山 直史 西尾 和三	著明な全身リンパ節腫大を認め悪性リンパ腫との鑑別に苦慮した粟粒結核の一例	第187回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・第263回日本呼吸器学会関東地方会合同学会	東京	2025年2月8日
中尾 雅也	左大腿骨インプラント周囲骨折後ロングネイルを再挿入した症例の膝関節可動域と起立着座能力の経時的変化	第41回神奈川県理学療法士学会	神奈川	2025年2月9日
白川 紘大 中島 由紀子 中野 泰 西尾 和三	病理診断が有用だったHIV-1合併初期梅毒の一例	第42回川崎市医師会医学会	川崎市医師会館ホール	2025年2月15日
橋本 可奈子 古市 祐樹 中島 由紀子 安西 秀美	診断に難渋したAspergillus tubingensisによる皮膚アスペルギルス症の1例	第915回 日本皮膚科学会東京地方会	神奈川 東京	2025年2月15日
深井 清乃	AYA世代がん患者のエンドオブライフケア ～緩和ケア病棟の一事例からの考察～	第39回 日本がん看護学会学術集会	札幌	2025年2月22日 2025年2月23日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
鈴木 果里奈	診断から治療そして緩和ケアに寄り添うがん看護外来の実践報告	第39回 日本がん看護学会学術集会	札幌	2025年2月22日 2025年2月23日
西 智弘	神経障害性疼痛	第22回日本臨床腫瘍学会学術集会	神戸コンベンションセンター	2025年3月6日 2025年3月7日 2025年3月8日
下澤 信彦 川村 良治 吉田 龍也 濱口 大之進 中川 晃一 宗像 弘美 三嶽 秀介 阿部 秀崇 豊田 沙織 杉 真恵 鈴木 貴博 武田 夏子 畑山 英	能登半島地震派遣後にDMAT隊員に行ったメンタルチェック(オリジナルストレスチェックシートの作成)	第30回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会	名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)	2025年3月7日
星野 絵里 中垣 達 渡邊 素子 梅本 真太郎 西成田 詔子 西野 誠 中野 泰 西尾 和三 伊藤 大輔	活動性肺結核治療中に進行肺腺癌と診断し殺細胞性抗癌剤を用いた化学療法を施行した1例	第703回日本内科学会関東地方会	東京	2025年3月8日
佐野 剛史	第24回サンプルサーベイ 結果解析報告	第25回KEMS研究会 学術集会	慶應大学	2025年3月15日

3 講演・講師派遣

演者	演題名	会合名	場所	年月日
平良 香理	患者接遇	令和6年度新採用看護職員研修	川崎	2024年4月2日
三宅博之 (座長)	口述発表 「X線撮影（臨床技術）」	日本放射線技術学会 第80回日本放射線技術学会総会 学術大会	パシフィ コ横浜	2024年4月11日
三宅博之 (司会)	第82回撮影部会ワークショップ テーマA：一般分科会 「血管撮影・IVRで求められる放射線技術 の再考：業務拡大の変化の中で」	日本放射線技術学会 第80回日本放射線技術学会総会 学術大会	パシフィ コ横浜	2024年4月12日
三宅博之 (司会)	日本放射線技術学会総会学術大会シンポジ ウム2 「一般撮影におけるパラダイムシフト」	日本放射線技術学会 第80回日本放射線技術学会総会 学術大会	パシフィ コ横浜	2024年4月13日
亀山亜希夫	「栄養サポートチームについて」	NST勉強会	井田病院	2024年5月7日
佐藤 弘康	細胞診受験生の講師：卵巣腫瘍について	関東圏細胞診勉強会	ズーム	2024年5月9日
仁藤 紀子	看護学概論 「保健医療福祉システムにおける訪問看護 師の役割と機能」	順天堂大学医療看護学部	順天堂大 学浦安 キャン パス	2024年5月9日
内藤 祥子	元気は足元から！～巻爪・足指トラブルを 防ぐ足のお手入れ講座～	麻生老人福祉センター学習会	川崎	2024年5月17日
柳井田 恭子	巻き爪・足指トラブルを防ぐ足元お手入れ 講座	麻生老人福祉センター	麻生老人 福祉セ ンター 大1 階広間	2024年5月17日
丸山礼佳	講師 『デジタル画像の物理評価 ー入出力特性ー』	第17回 実践セミナーin蓼科 デジタル画像の解析技術を身 につけよう！	中京大学 セミナー ハウス 『マウン トビュ ー蓼科』	2024年6月1日 2024年6月2日
渡邊 嘉如	食物アレルギー・熱中症・心肺蘇生法につ いて	川崎市立宮内中学校教職員研修 会	川崎	2024年6月6日
尾形 直人	食物アレルギー・熱中症・心肺蘇生法につ いて	川崎市立宮内中学校教職員研修 会	川崎	2024年6月6日
滝本千恵 (座長)	腎性貧血/HIF-PH阻害薬	第69回日本透析医学会学術集 会・総会	横浜	2024年6月8日
柳井田 恭子	成人看護学（慢性期）Ⅱ	神奈川県立保健福祉大学	神奈川県 立保健福 祉大学	2024年6月11日 2024年6月18日 2024年6月25日
山崎 雅子 小嶋 幸 江本 由佳 原山 茜	演習支援	看護コミュニケーション論Ⅰ	川崎	2024年6月18日
亀山亜希夫	「人工甘味料について」	糖尿病サポートチーム勉強会	井田病院	2024年6月19日
松尾 京子	「受持ち看護師役割研修」	川崎市病院局看護職員研修	カルッツ 川崎	2024年6月19日

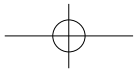
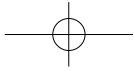
演者	演題名	会合名	場所	年月日
佐藤 敏美	点滴・静脈内注射、採血について 講演と演習	未就業看護師等復職支援研修会	川崎	2024年6月2日 2024年11月19日
武見 綾子	「看護単位リーダー研修②」	川崎市病院局看護職員研修	フロラシ オン	2024年6月21日
三好 しのぶ	「看護単位リーダー研修②」	川崎市病院局看護職員研修	フロラシ オン	2024年6月21日
小野 悠	実践報告	緩和ケア認定看護師教育課程 令和6年度 第1回認定看護師 フォローアップ研修会	ZOOM	2024年6月25日
日野 瑞希 石井 菜穂	ゲストスピーカー	『キャリア論』講義	川崎	2024年6月29日
清野 里奈	患者の移乗について	院内研修会	川崎	2024年7月1日
宮崎 奈々	演習支援 フィジカルアセスメント：基礎	2024年度認定看護師教育課程	東京	2024年7月4日
野田 浩美 富樫 萌香	病院説明会	病院奨学生推薦対象病院並びに 実習病院説明会	横浜	2024年7月6日
佐々木 陽子	講話	川崎市看護協会 新人交流会	川崎	2024年7月10日
下澤信彦	能登半島地震での活動 珠洲市における DMATの病院支援～輸液からメンタルヘルス ケアまで～	第4回かわさき災害医療ネット ワーク	川崎市医 師会館	2024年7月12日
亀山亜希夫	「結核病棟における糖尿病サポートの実 際」	神奈川県糖尿病療養指導研究会 WEB研修会	WEB	2024年7月13日
一瀬みれい	障害がある患者さんの緩和ケア ～命に関わるコミュニケーションの壁～	かわさき在宅ケア・緩和ケア症 例検討会	井田病院	2024年7月18日
白井 直子	病院紹介	ナース専科就職ナビ合同就職説 明会	東京	2024年7月27日
福島 貴子	感染対策の基本	KAWASAKI感染制御協議会看護師 会 出張講座	特養せせ らぎ	2024年7月30日
福島 貴子	標準予防策と薬剤耐性菌	福祉職員向け医療講座	ベル ティーナ 高田	2024年7月31日
志賀 愛美	輸液ポンプ等の取り扱いについて	院内研修会	川崎	2024年8月1日
小林 岳	BSCを活用した組織の目標管理とPM	日本病院薬剤師会関東ブロック 第54回学術大会 シンポジウム16	さいたま 市	2024年8月11日
福島 貴子	標準予防策と个人防护具の着脱方法	福祉職員向け医療講座	あーる工 房	2024年8月21日
福島 貴子	感染対策の基本とコロナ対策	福祉職員向け医療講座	寿楽園	2024年9月2日
亀山 亜希夫	「栄養管理体制について～診療報酬に伴う 検討について～」	NST勉強会	井田病院	2024年9月3日
亀山 亜希夫	病棟勉強会（HCU） 「リフィーディングシンドロームについ て」	病棟勉強会（HCU）	井田病院	2024年9月7日
鈴木 果里奈	エンドオブライフケアにおける看護 臨死期の看護	川崎市立川崎病院 ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム	川崎	2024年9月7日 2024年9月8日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
深井 清乃	症状マネジメント 質の高いエンドオブライフケアの達成	川崎市立川崎病院 ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム	川崎	2024年9月7日 2024年9月8日
鈴木 怜美	アドバイザー	川崎市オストミー協会会員の体 験発表と情報交換	川崎	2024年9月15日
金澤 寧彦	血糖コントロールに係る薬剤投与関連 「インスリン投与量の調整の実際」	日本看護協会 看護研修学校 糖尿病看護学科 認定看護師講 義	東京都清 瀬市梅園 1-2-3 日本看護 協会 看 護研修学 校	2024年9月19日
莊所 一典 (演者)	下部尿路症状に対する薬剤投与の考え方	Urology web講演会	川崎市 (Web)	2024年9月20日
長利 紗瑛	病院説明会	横浜創英大学学内合同就職説明 会	横浜	2024年9月20日
篠原 悦子	認知症理解研修 認知症の方への接し方	川崎市社会福祉協議会地域課題 研修	川崎	2024年9月26日
鈴木 貴博	訓練プレイヤー 川崎市保健医療調整本部副本部長・川崎市 DMAT活動拠点本部長	大規模地震時医療活動訓練（政 府訓練）	川崎市役 所新庁舎	2024年9月27日 2024年9月28日
中島 由紀子	最近の感染症情報と感染管理について	川崎市看護協会技術研修	川崎市看 護協会	2024年10月2日
亀山 亜希夫	多職種チームで誤嚥性肺炎を予防しよう！ 「摂食障害のある人への食生活支援」	川崎市看護協会研修会	ハイブ リッド	2024年10月3日
川村 安希	多職種チームで予防誤嚥性肺炎 ～摂食嚥下障害のある人のセルフケアと 支援について～	川崎市看護協会研修会	川崎	2024年10月3日
菊池 眸	抗酸菌検査の実際～川崎市井田病院ではこ うしてます～	令和6年神奈川県技師会 度微生物研究班	ユニコム さがみは ら	2024年10月4日
柳井田 恭子	看取りについて	社会福祉法人川崎市社会福祉協 議会	社会福祉 法人緑成 会特別養 護老人 ホーム新 緑の郷	2024年10月7日
小林 岳	病院と地域を繋ぐ薬剤師の役割と多職種協 働	川崎市立看護大学講義～高齢者 の地域包括ケアシステム（4） ～	川崎市	2024年10月17日
篠原 悦子	高齢者の地域包括ケアシステム（6）病院 と地域を繋ぐ認定看護師の役割・機能と多 職種協働	川崎市立看護大学地域包括ケア 実践Ⅰ	川崎	2024年10月31日
三宅 博之 (講師)	教育セミナー 「一般撮影に関する撮影技術の変遷とシス テムの進歩」	第1回日本放射線技術医療技術学 術大会 日本放射線技術学会 日本診療放射線技師会	沖縄コン ベンショ ンセン ター	2024年11月2日
三宅 博之 (座長)	一般演題（口述） 「X線（性能評価）」	第1回日本放射線技術医療技術学 術大会 日本放射線技術学会 日本診療放射線技師会	沖縄コン ベンショ ンセン ター	2024年11月2日
曾我部 雅代	「認知症看護に必要な専門的知識技術 を有する看護師を養成する」研修会	「認知症看護に必要な専門的 知識技術を有する看護師を養成 する」研修会	川崎	2024年11月7日
大溝 茂実	演習	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル統合演習Ⅰ	横浜	2024年11月8日 2024年11月28日 2024年12月13日 2025年1月23日

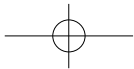
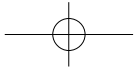
演者	演題名	会合名	場所	年月日
武見 綾子	護管理者研修【副主任編】ファシリテーター	令和6年度川崎市病院局看護職員研修看	川崎	2024年11月10日
亀山 亜希夫	糖尿病デー院内イベント 「間食について考えてみましょう！」	世界糖尿病デー院内講演会	井田病院	2024年11月14日
柳井田 恭子	認定看護管理者教育課程セカンドレベル演習指導者及びレポート評価	公益社団法人神奈川県看護協会	神奈川県看護協会第2研修室	2024年11月14日 2024年11月22日 2024年12月12日 2024年12月25日 2025年1月16日 2025年1月30日
北岡 聡子	「慢性腎臓病の食事療法 塩分制限に取り組もう！」	川崎市看護協会研修会	川崎市医師会館	2024年11月16日
滝本 千恵 (演者)	慢性腎臓病といわれたら	第125回腎臓病講座	川崎	2024年11月16日
下澤 信彦	AYA世代の力を信じて引き出す緩和ケア	かわさき在宅ケア・緩和ケア症 例検討会	川崎市立 井田病院	2024年11月21日
仁藤 紀子 (実行委員)	第10回日本NP学会集会(国際)	第10回日本NP学会集会	東京	2024年11月22日 2024年11月23日 2024年11月24日
寺坂 幸倫 (演者)	手外科外傷診療のpitfall	Pain Live Symposium	ホテル精 養軒 (ZOOM Webinar)	2024年11月25日
吉田 龍也	受持ち看護師のためのフィジカルアセスメント	川崎市病院局看護職員研修	川崎	2024年11月26日
西 智弘	社会的処方	川崎市人材福祉バンク	川崎市	2024年11月27日
滝本 千恵 (座長)	糖尿病とCKD	Diabetic Kidney Disease Seminar in Kanagawa EAST	新横浜・ Web	2024年11月27日
下澤 信彦	DMAT (災害医療派遣チーム) の活動	川崎市立看護大学講義 (救急医 療の実際)	川崎市立 看護大学 講義 (救 急医療の 実際)	2024年11月29日
佐藤 弘康 渡邊 夢実	細胞診受験生の鏡検対策講師	関東圏細胞診勉強会	横浜市立 大学付属 病院	2024年11月30日
里舘 均 (座長)	胃・十二指腸悪性 症例報告5	第37回日本内視鏡外科学会総会	福岡	2024年12月6日
篠山 薫	井田病院看護部紹介	令和6年度川崎市職員(助産師・ 看護師)採用選考合格者説明会	川崎	2024年12月7日
浅見 椎麻	先輩としての講話	令和6年度川崎市職員(助産師・ 看護師)採用選考合格者説明会	川崎	2024年12月7日
丸山 礼佳 (座長)	シンポジウム 『デジタルプレストモシンセシスの新 時代～診療放射線技師にできること～』	第71回 関東支部研究発表大会 『一意専心』	Gメッセ 群馬	2024年12月7日 2024年12月8日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
武見 綾子 三好 しのぶ	看護単位リーダー研修③	川崎市病院局看護職員研修	川崎	2024年12月9日
濱田 麻里子	がん看護学特論Ⅴ	東京慈恵会医科大学	東京慈恵会医科大学	2024年12月12日
中島 由紀子	災害活動時の感染症対策	令和6年度かながわDPAT研修	県立保健福祉大学 大会議室	2024年12月14日
鈴木 貴博	来るべき災害に備えて ～県民市民の備えと災害医療～	川崎市医師会 県民のための災害講習会 もしもの時の災害に備えて	川崎市医師会館	2024年12月14日
下澤 信彦	「災害医療の基本」 災害医療の概論及び災害医療の原則	かながわDPAT研修	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学	2024年12月14日
鈴木 果里奈	ファシリテーター	川崎市立井田病院緩和ケア研修会	川崎	2024年12月15日
福島 貴子	食中毒と流行している感染症	港北病院感染対策研修会	港北病院	2024年12月16日
仁藤 紀子	在宅医療の実際	川崎市立看護大学	川崎市立看護大学	2024年12月17日
鈴木 貴博	座長 川崎市の救急医療における問題点	第12回かわさき救急フォーラム	ステーションコンファレンス川崎	2024年12月18日
田島 弓子	リーダー役割準備研修【実践編】	令和6年度川崎市病院局看護職員研修	川崎	2024年12月19日
野田 浩美	病院説明	文化放送ナースナビ病院合同就職説明会	横浜	2024年12月22日
福島 貴子	気になる感染症対策について	出前講座 感染症対策研修	特養南さいわい	2024年12月24日
曾我部 雅代	認知症ケアについて	大塚歯科クリニック学習会	川崎	2024年12月26日
三宅 博之	講師 「講義4 装置の品質管理について（X線装置）」	日本放射線技術学会 撮影部会一般分科会 「2024年度 単純X線撮影における品質管理セミナー」	オンデマンド配信 及びライブ	2025年1月6日 2025年1月25日
鈴木 貴博	ファシリテーター	令和6年神奈川県災害医療コーディネーター研修	川崎市立看護大学	2025年1月12日
小林 綾	薬剤耐性（AMR）対策について	2024年度 第1回 川崎市立井田病院薬連携研修会	川崎市	2025年2月13日
篠山 薫	看護師等養成施設における就職説明会	川崎市立看護大学就職説明会	川崎	2025年1月16日
樋口 日和	看護師等養成施設における就職説明会	川崎市立看護大学就職説明会	川崎	2025年1月16日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
亀山 亜希夫	診療報酬改定の取り組み ～早期栄養介入管理加算を算定して～	栄養士人材育成全体研修会 (研修実務報告会)	WEB	2025年1月24日
牛込 志乃	日常ケアのできる褥瘡予防	港北病院学習会	横浜	2025年1月31日
亀山 亜希夫	NST勉強会 「栄養管理体制について～診療報酬に伴う 改定について～」	NST勉強会	井田病院	2025年2月5日
小嶋 幸	2年目に向けたステップアップ研修	川崎市病院局看護職員研修	川崎	2025年2月7日
亀山 亜希夫 (座長)	一般演題②	第2回日本病態栄養学会 関東甲信越地方会	都市セン ターホテ ル	2025年2月9日
宮崎 奈々	呼吸器関連 気管カニューレの管理と交換 の実際	2024年度特定行為研修	東京	2025年2月13日
小林 岳 (座長)	「災害医療の現状～災害薬事の扉をあける ～」日本災害医療薬剤師学会 会長 渡邊暁 洋先生	薬剤師のための災害医療 スキ ルアップセミナー① in 川崎	川崎市	2025年2月21日
小林 岳 (座長)	「川崎市の災害医療体制」川崎市健康福祉 局保健医療政策部 DMA T調整担当 小野 欽也先生	薬剤師のための災害医療 スキ ルアップセミナー① in 川崎	川崎市	2025年2月21日
小林 岳 (座長)	「災害医療の現場で何故薬剤師が必要か」 日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 副 院長 井上潤一先生	薬剤師のための災害医療 スキ ルアップセミナー① in 川崎	川崎市	2025年2月21日
柳井田 恭子	第3回高齢者糖尿病患者の看護研修 ～高齢者の低血糖～	一般社団法人日本糖尿病教育・ 看護学会	Web開催	2025年3月2日
好本 達司 (座長)	循環器演題	第703回日本内科学会関東地方会	東京国際 フォーラ ム	2025年3月8日
滝本 千恵 (演者)	SGLT2阻害薬の適応について	第27回BRB Nephrology Conference	東京・ Web	2025年3月15日
福島 貴子	コロナ禍での感染対策（振り返り）	神奈川県立学校保健特別支援学 校部会Dブロック	神奈川県 立中原支 援学校	2025年3月26日



VI 研修・実習



1 研修会

(1) リハビリテーション科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月27日	4月28日	第36回日本ハンドセラピー学会学術集会	日本ハンドセラピー学会
6月21日	6月22日	第25回日本言語聴覚学会	日本言語聴覚士協会
8月30日	8月31日	第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会	日本摂食嚥下リハビリテーション学会
9月16日		2024年度神奈川がんリハビリテーション研修会	一般財団法人ライフ・プランニング・センター
10月10日		離床を安全に進めるための画像判断セミナー（ZOOM開催）	一般社団法人日本離床学会
10月15日		第19回神奈川県作業療法学会	神奈川県作業療法士協会
11月2日	11月3日	第11回サルコペニア・フレイル学会大会	一般社団法人日本サルコペニア・フレイル学会
11月9日	11月10日	第58回日本作業療法学会	日本作業療法士協会
11月30日		第19回呼吸リハビリテーションサイエンスフォーラム	呼吸リハビリテーションサイエンスフォーラム
2月9日		第41回神奈川県理学療法士学会	神奈川県理学療法士学会
3月28日	3月30日	第89回日本循環器学会学術集会	一般社団法人日本循環器学会

(2) 放射線診断科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月11日	4月14日	第80回日本放射線技術学会総会学術大会	日本放射線技術学会
5月24日		第15回 VMAT 治療計画実習講習会 (Ray Station)	日本医学物理士会
5月26日		第16回 千葉 IVR 技術セミナー part1	千葉アンギオ研究会
5月27日		第1種放射線取扱主任者講習	日本アイソトープ協会
6月15日		第158回放射線治療かたろう会	放射線治療かたろう会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
6月20日		SARAYA 感染対策 Web セミナー ～正しく使おう PPE～	サラヤ株式会社
6月25日		腹部 Web イメージングセミナー	バイエル薬品株式会社
7月6日		2024 年度 第 1 回関東 DR 研究会	日本放射線技術学会 関東支部 関東 DR 研究会
7月11日	7月13日	第 32 回 日本乳癌学会学術総会	一般社団法人 日本乳癌学会
7月19日		第 58 回 神奈川 MRI 技術研究会	神奈川 MRI 技術研究会
7月20日		第 64 回 心臓核医学談話会	日本メジフィジックス株式会社
7月25日		第 70 回 神奈川乳房画像研究会	神奈川乳房画像研究会
8月3日		告示研修	日本診療放射線技師会
8月19日		湘南乳癌画像診断 WEB セミナー	PDR ファーマ株式会社
8月24日		第 43 回 緑陰講座	X 線装置研究会
8月24日		令和 6 年度第 1 回東北医学物理スキルアップ研修会	東北医学物理研修会
8月29日		第 5 回 DDR 技術セミナー	コニカミノルタジャパン株式会社
8月31日		第 21 回 神奈川カテ室メディカルスタッフ研究会	神奈川カテ室メディカルスタッフ研究会
9月5日		第 32 回 千葉県乳房画像研究会	映像情報メディカル
9月14日		冠動脈模型作成セミナー	循環器画像技術研究会
9月14日		第 159 回放射線治療かたろう会	放射線治療かたろう会
9月21日		エクセレントカンファレンス 2024	富士フイルムメディカル株式会社
9月22日		JBMP 放射線治療品質管理講習会	医学物理士認定機構
9月22日		JBMP 医学物理講習会	医学物理士認定機構

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
9月23日		告示研修	日本診療放射線技師会
9月26日		安全性講習会（検査管理認証用）	日本磁気共鳴学会
9月26日		8 t h Cyber MRI Basic	Cyber MRI Basic
9月28日		第16回 PACS ベーシックセミナー	日本放射線技術学会 医療情報部会
10月1日	10月31日	第14回デジタルマンモグラフィを基礎から学ぶセミナー	日本放射線技術学会
10月3日		放射線診療実践セミナー	神奈川県放射線技師会
10月5日		2024年度 第2回関東 DR 研究会	日本放射線技術学会 関東支部 関東 DR 研究会
10月6日		マンモグラフィの画質を考えるセミナー	ぐんまマンモグラフィ向上委員会
10月17日		RI 画像処理勉強会	PDR ファーマ株式会社
10月23日		核医学の都市伝説 vol17(再)	日本メジフィジックス株式会社
10月26日		第14回 デジタルマンモグラフィを基礎から学ぶセミナー	日本放射線技術学会 撮影部会
10月26日		第113回 神奈川消化管撮影技術研究会	神奈川消化器撮影技術研究会
10月30日		管理監督者のラインケア研修	川崎市総務企画局
10月31日	11月3日	第1回 日本放射線技術医療技術学術大会	日本放射線技術学会 日本診療放射線技師会
11月2日		2024年度ミニレクチャー③「放射線影響における数式と数理モデル」	日本医学物理士会
11月2日		2024年度ミニレクチャー③「脳腫瘍の治療」	日本医学物理士会
11月9日		第22回放射線治療かたろう会システム研究分科会	放射線治療システム研究分科会
11月9日		令和6年度第2回東北医学物理スキルアップ研修会	東北医学物理研究会
11月13日		核医学の都市伝説 vol18	日本メジフィジックス株式会社

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
11 月 13 日		医療 DX の実用について	GE ヘルスケアジャパン株式会社
11 月 14 日		放射線診療実践セミナー 胸部画像研究会	神奈川県放射線技師会
11 月 14 日		医師からの視点と放射線治療計画 01	日本医学物理士会
11 月 15 日		第 59 回 神奈川 MRI 技術研究会	神奈川 MRI 技術研究会
11 月 29 日		福島災害医療セミナー2024 オンラインコース 2	公立大学法人 福島県立医科大学 災害医療総合学習センター
11 月 29 日	11 月 30 日	第 34 回 日本乳癌検診学会学術総会	日本乳癌検診学会
12 月 12 日		令和 6 年度 情報セキュリティ研修	川崎市総務企画局
12 月 15 日		放射線治療における診断参考レベル構築の現状	日本医学物理士会
12 月 21 日		2024 年度 第 3 回関東 DR 研究会	日本放射線技術学会 関東支部 関東 DR 研究会
12 月 21 日		第 160 回放射線治療かたろう会	放射線治療かたろう会
12 月 22 日		神奈川県放射線技術講習会	神奈川県放射線技師会
1 月 3 日	1 月 26 日	DIR 実技講習会 (Ray Station)	日本医学物理士会
1 月 6 日	1 月 26 日	リニアック標準計測法 24	日本医学物理士会
1 月 8 日		第 3 回 日本放射線技師連盟定例勉強会	日本診療放射線技師連盟
1 月 17 日		放射線診療実践セミナー	神奈川県放射線技師会
1 月 23 日		第 4 回 日本放射線技師連盟定例勉強会	日本診療放射線技師連盟
1 月 25 日		2024 年度 第 1 回単純 X 線撮影における品質管理セミナー	日本放射線技術学会 撮影部会
2 月 15 日	2 月 16 日	第 14 期よこはま乳がん学校	日本乳癌画像研究会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
2月15日		第7回放射線治療品質保証講習会	放射線治療品質保証研究開発機構
2月22日		日本放射線公衆安全学会第38回講習会	日本放射線公衆安全学会
2月27日		医療安全対策 Web セミナー	エーザイ株式会社
2月27日		9 t h Cyber MRI Basic	Cyber MRI Basic
3月1日		第23回九州放射線治療システム研究会	九州放射線治療システム研究会
3月5日		RI 画像処理勉強会	日本メジフィジックス株式会社
3月15日		第17回関東脳核医学研究会-KBNM-	日本メジフィジックス株式会社
3月16日		実践的放射線治療人材育成セミナー	広島がん高精度放射線治療センター
3月19日		第1回 SmartSpeed Web セミナー	フィリップス・ジャパン株式会社

(3) 検査科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
6月7日	6月8日	神奈川 DMAT-L 隊員養成研修	神奈川県健康医療局
6月22日	6月22日	心電図の基礎から3歩進むセミナー	心電図研修所合同会社
6月30日	6月30日	タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	日本臨床検査技師会
7月21日	7月21日	輸血検査実技講習会	神奈川県臨床検査技師会
7月21日	7月21日	令和6年度 輸血検査実技講習会	神奈川県臨床検査技師会
7月22日		横浜市包装責任者研修会	横浜市
7月25日		GE general sonographers Seminar	GE
7月28日		タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	日本臨床衛生検査技師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
7月28日	7月28日	臨床神経生理技術講演会	日本臨床神経生理学会会員
8月4日	8月4日	第84回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会
8月23日	9月9日	第22回首都圏ラボラトリーフォーラム	BML
9月7日		2024 超音波基礎 WEB セミナー	富士フィルム
9月7日	9月7日	フィリップス WEB セミナー	フィリップス
9月18日		腹部超音波実技講習会	神奈川県臨床検査技師会
9月22日	9月22日	まるっと一日体表超音波検査	超音波検査学会
9月24日	10月6日	呼吸実技セミナー～検査のコツ教えます～	東京都臨床検査技師会
9月27日	9月27日	CLSI-bioMerieux Global Symposium Series	BIOMERIEUX
9月28日	9月28日	微生物研究班 第3回研修会	神奈川県微生物研究班
10月4日	10月6日	日本医療検査科学会第56回大会	日本医療検査科学会
10月5日	10月6日	日本超音波医学会第36回関東甲信越 地方学術集会	日本超音波医学会
10月21日		Diabetes Relationship Seminar in 神奈川	日本糖尿病協会、神奈川糖尿病協会、住友ファーマ株式会社
10月24日	10月26日	大54回日本臨床神経生理学会学術大会	日本臨床神経生理学会
10月31日	11月1日	第62回全国自治体病院学会	全国自治体病院学会
11月13日		General Sonographers Seminar S2	GE
11月16日	11月16日	Xpert Club 2024	ベックマン・コールター
11月18日		GE HealthCare ECHO Waza-ari Webseminar	GE

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
11月26日	11月26日	感染症対応力向上研修	神奈川県健康医療局保健医療部
12月14日	12月14日	第6回 SDC 感染症研究会	島津ダイアグノスティック株式会社
12月15日	12月15日	第8回乳房超音波ファントム実技セミナー	一般社団法人日本超音波検査学会
1月19日		第45回メディコピア教育シンポジウム	H.UGROUP
1月25日	1月26日	第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会	日本臨床微生物学会
1月28日		マルゼミ×ナースの星 感染対策WEBセミナー	丸石製薬株式会社/メディバックス株式会社
2月1日	2月1日	令和6年度院内感染対策講習会	厚生労働省
2月18日	2月21日	令和7年度 第88回聴力測定技術講習会	一般社団法人日本聴覚医学会
2月23日		第26回神奈川県糖尿病療養指導研究会	神奈川県糖尿病療養指導士研究会
3月1日	3月23日	第4回ブラッシュアップセミナー	かながわ臨床検査データ解析カンファレンス
3月1日		日臨技関甲信支部首都圏支部合同「臨床化学検査研究班研修」	日臨技関甲信支部、首都圏支部
3月5日	3月19日	GEヘルスケア オンラインセミナー	GEヘルスケア
3月8日	3月8日	微生物フォーラム EIKEN2025	栄研化学株式会社
3月15日		第25回KEMS研究会 学術集会	KEMS研究会 (Keio Endocrine & Metabolite Survey)
3月16日	3月16日	心エコーハンズオンセミナー	US-ism
3月22日		輸血テクニカルセミナー2024	日本輸血細胞治療学会、日本臨床衛生検査技師会
3月29日	3月29日	第29回関東甲信越地区マイクロスキヤン研究会	ベックマン・コールター株式会社

(4) 薬剤部

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月1日	6月30日	がんゲノム診療セミナー	日本臨床腫瘍薬学会
4月3日	4月3日	診療報酬改定に関する研修会	神奈川県病院薬剤師会
4月11日	4月11日	4月 薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
4月17日	4月17日	Pharmacist web seminar (心房細動)	第一三共
4月23日	4月23日	BRCA 遺伝子変異陽性 mBC の新しい PARP 阻害薬	ファイザー
5月2日	5月2日	IrAE Management Seminar in Shimane	MSD
5月9日	5月9日	5月 薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
5月15日	5月15日	令和6年度 第1回神奈川がん薬物療法・専門薬剤師セミナー	神奈川県病院薬剤師会
5月16日	5月16日	川崎井田薬剤部連携勉強会	川崎市立川崎病院薬剤部
5月17日	5月17日	バイオシミラーの使用促進と薬剤部門の役割	日本化薬
5月25日	5月25日	第17回日本緩和薬物療法学会学術大会	日本緩和薬物療法学会
5月28日	5月28日	肺がん化学療法の歴史を振り返る～薬剤師と医師の立場から～	日本化薬
6月6日	6月6日	横浜 COVID-19 診療フォーラム in2024	塩野義製薬株式会社
6月7日	6月7日	第28回 大学-医療連携講演会	日本病院薬剤師会
6月9日	6月9日	第28回 星薬科大学同窓会神奈川県支部定期総会・研修会	星薬科大学同窓会神奈川県支部
6月13日	6月13日	骨粗鬆症と腫瘍性骨軟化症との鑑別	協和キリン
6月14日	6月14日	川崎井田薬剤部連携勉強会	川崎市立川崎病院薬剤部

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
6 月 16 日	6 月 16 日	炎症性腸疾患を考える薬剤師 WEB セミナー	日本病院薬剤師会
6 月 17 日	6 月 17 日	病院薬剤師のための WEB セミナ ー	富士フィルム
6 月 18 日	6 月 18 日	進行再発乳がんの治療戦略～ク リニカルクエスチョンに迫る～	第一三共
6 月 19 日	6 月 19 日	成人肺炎診療ガイドライン 2024 改訂のポイント	Meiji Seika ファルマ株式会 社
6 月 21 日	6 月 21 日	Necitumumab の処方と注意点	日本化薬
6 月 21 日	6 月 21 日	JMHA 2024 年度薬剤部会研修会	全国自治体病院協議会
6 月 22 日	6 月 22 日	第 4 回臨床研究・治験事務局ベ ーシックセミナー	日本病院薬剤師会
6 月 25 日	6 月 25 日	Breast Cancer Symposium～限り ある時間の中で～	協和キリン
6 月 27 日	6 月 27 日	アロカリスの適正使用	大鵬薬品
6 月 27 日	6 月 27 日	チームで支えるがん化学療法	日本病院薬剤師会
6 月 27 日	6 月 29 日	第 98 回日本感染症学会学術講演 会・第 72 回日本化学療法学会総 会合同学会	日本感染症学会・日本化学療 法学会
6 月 29 日	7 月 12 日	エッセンシャルセミナーA	日本臨床腫瘍薬学会
7 月 2 日	7 月 2 日	JMS、輸液ルート管理について	JMS
7 月 4 日	7 月 4 日	循環器疾患薬剤師連携セミナー	日本病院薬剤師会
7 月 5 日	7 月 5 日	令和 6 年度全国都市立病院薬局 長協議会・研修会	全国都市立病院薬局長協議 会
7 月 11 日	7 月 11 日	7 月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
7 月 12 日	7 月 12 日	川崎井田薬剤部連携勉強会	川崎市立川崎病院薬剤部

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
7月13日	7月13日	令和6年度医薬品安全管理責任者講習会基礎編	日本病院薬剤師会
7月16日	7月16日	第14回 川崎市薬剤師会症候学研修会	川崎市薬剤師会
7月18日	7月18日	川崎市感染症危機管理研修会	川崎市健康福祉局
7月19日	8月9日	エッセンシャルセミナーB	日本臨床腫瘍薬学会
7月23日	7月23日	令和6年度ファーマシーマネジメントセミナー	神奈川県病院薬剤師会
7月24日	7月24日	がん疼痛セミナー	久光製薬
7月26日	7月26日	人生100年時代の心不全治療	大塚薬品
7月26日	7月27日	第39回日本環境感染学会総会・学術集会	日本環境感染学会
7月27日	7月27日	輸液・栄養に関する研修会	神奈川県病院薬剤師会
7月29日	7月29日	第165回大分県病院薬剤師会県南地区研修会	大分県薬剤師会
7月30日	7月30日	心不全患者への薬薬連携の今後と展望 CardioOncologyの世界へようこそ	第一三共
8月2日	8月2日	Next Hospital Pharmacist Seminar	第一三共
8月3日	8月3日	第6回瀬戸内病院薬学会	アッヴィ
8月7日	8月7日	免疫チェックポイント阻害薬、副作用について	MSD
8月8日	8月8日	第32回 症例検討会	大分県薬剤師会
8月9日	8月9日	2024年度第1回感染領域専門認定薬剤師養成講習会	神奈川県病院薬剤師会
8月10日	8月11日	日本病院薬剤師会関東ブロック第54回学術大会 in Saitama	日本病院薬剤師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
8月22日	8月22日	薬剤師のためのWEB講演会	扶桑薬品工業
8月9日	8月23日	エッセンシャルセミナーC	日本臨床腫瘍薬学会
8月26日	8月26日	令和6年度 診療所対象研修会	神奈川県病院薬剤師会
8月30日	8月30日	薬剤師の為のフィジカルアセスメント	日本病院薬剤師会
9月1日	9月1日	サイエンス漢方サマーセミナー	サイエンス漢方処方研究会
9月4日	9月4日	令和6年度 第2回神奈川がん薬物療法・専門薬剤師セミナー	神奈川県病院薬剤師会
9月7日	9月8日	第18回日本腎臓病薬物療法学会 学術集会・総会	日本腎臓病薬物療法学会
9月11日	9月11日	令和6年度 横須賀地区研修会	神奈川県病院薬剤師会
9月12日	9月12日	9月薬学研修会	神奈川県病院薬剤師会
9月27日	9月27日	東京すみっこ PharmacistSeminar	富士製薬工業
10月10日	10月10日	第30回教育セミナー	日本緩和薬物療法学会
10月11日	10月11日	ビオフェルミンWEBセミナー「災害時における必須医薬品リストを考える」	大正製薬
10月10日	10月10日	10月薬学研修会	神奈川県病院薬剤師会
10月17日	10月19日	第73回日本感染症学会東日本地方学術集会・第71回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会	日本感染症学会・日本化学療法学会
10月18日	10月18日	第1回横浜・川崎地区研修会	神奈川県病院薬剤師会
10月26日	10月26日	令和6年度感染制御専門薬剤師講習会（第2回）	日本病院薬剤師会
10月30日	10月30日	令和 薬学友の会	大正製薬

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
10月31日	10月31日	レケンビ注、睡眠剤フォーミュラリ	エーザイ
11月1日	11月1日	ファーマシーマネジメント懇話会 2024	日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所
11月2日	11月4日	第34回日本医療薬学会年会	日本医療薬学会
11月7日	11月7日	ビロイ注	アステラス製薬
11月7日	11月7日	医療安全管理者養成研修 2024 年度	日本医療機能評価機構
11月8日	11月8日	令和6年度医薬品安全管理責任者講習会一般編	日本病院薬剤師会
11月12日	11月12日	Antimicrobial Stewardship Seminar in Yokohama	杏林製薬
11月21日	11月21日	2024年度 第2回 日本フォーミュラリ学会研修委員会主催 Web セミナー	日本フォーミュラリ学会
11月22日	11月22日	患者特性に応じた薬物療法研修会	神奈川県病院薬剤師会
11月24日	11月24日	第2回臨床スポーツ薬理学研究会	臨床スポーツ薬理学推進機構
11月25日	11月25日	エンタイビオ注	武田薬品
11月28日	11月28日	第15回神奈川県病院薬剤師会災害対策研究会	神奈川県病院薬剤師会
11月29日	11月29日	第19回医療の質安全学会学術集会	医療の質安全学会
12月3日	12月3日	ラスビックについて	杏林製薬
12月4日	12月4日	症例報告会（川崎病院計良先生）	川崎市立井田病院薬剤部
12月4日	12月4日	pharmake 無料オンラインセミナー～チームを強くする！病院薬剤部門の人材マネジメント戦略～	pharmake

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
12月6日	12月6日	Pharmacist ステップアップ seminar	第一三共
12月8日	12月8日	感染症 Up to Date 2024	日本化学療法学会他
12月9日	12月9日	第6回 AST 講習会	日本化学療法学会
12月12日	12月12日	12月薬学研修会	神奈川県病院薬剤師会
12月13日	12月13日	薬剤管理研修会	全国自治体病院協議会
12月16日	12月16日	第1回薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー	神奈川県病院薬剤師会・神奈川県薬剤師会
12月17日	12月17日	令和6年度 療養病床対象研修会	神奈川県病院薬剤師会
12月18日	12月18日	pharmake 無料オンラインセミナー～人材マネジメントオブジェクション・ハンドリング年内総集編～	pharmake
12月21日	12月21日	がん疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会	麻薬覚醒剤乱用防止センター
12月22日	12月22日	日本病院薬剤師会 e-LEARNING フレイル・サルコペニア予防を目的とした薬物療法、リハ薬剤	日本病院薬剤師会
12月22日	12月22日	日本病院薬剤師会 e-LEARNING これからの業務に必ず役立つ！薬剤師も知っておくべきリハ栄養	日本病院薬剤師会
12月22日	12月22日	日本病院薬剤師会 e-LEARNING 病棟薬剤業務の充実と薬剤管理指導算定件数増加の取り組み	日本病院薬剤師会
12月22日	12月22日	日本病院薬剤師会 e-LEARNING 病院薬剤師の未来を拓く 職能拡大と資質向上をめざして	日本病院薬剤師会
12月22日	12月22日	病院薬剤師版バランスト・スコアカードセミナー 1日目	神奈川県病院薬剤師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
1 月 8 日	1 月 8 日	h-MBA 学友会 医療経営講演会 in 六本木	学友会
1 月 15 日	1 月 15 日	pharmake 無料オンラインセミナー～次年度に向けた人材マネジメント戦略①～	pharmake
1 月 16 日	1 月 29 日	2024 年度スポーツファーマシスト実務講習 (e-learning)	日本アンチドーピング機構
1 月 19 日	1 月 19 日	病院薬剤師版バランスト・スコアカードセミナー 2 日目	神奈川県病院薬剤師会
1 月 31 日	1 月 31 日	令和 6 年度病院薬剤師研修	神奈川県健康医療局
2 月 6 日	2 月 6 日	令和 6 年度第 2 回地域医療構想普及促進事業研修会	神奈川県医師会／神奈川県
2 月 7 日	2 月 7 日	令和 6 年度全国都市立病院薬局長協議会総会・講演会	全国都市立病院薬局長協議会
2 月 13 日	2 月 13 日	2 月薬学研修会	神奈川県病院薬剤師会
2 月 14 日	2 月 14 日	NSCLC meet the expert 周術期～進行再発期	ブリストルマイヤーズスクイブ
2 月 14 日	2 月 14 日	医薬品の取引実務に関する勉強会	全国自治体病院協議会
2 月 14 日	2 月 15 日	第 40 回日本栄養治療学会学術集会	日本栄養治療学会
2 月 17 日	2 月 17 日	第 17 回神奈川病院薬剤師感染症フォーラム	神奈川病院薬剤師感染症フォーラム・神奈川県病院薬剤師会
2 月 18 日	2 月 18 日	第 1 回 NST 研修会	神奈川県病院薬剤師会
2 月 19 日	2 月 19 日	2024 年度第 1 回川崎市立井田病院薬薬連携研修会	川崎市立井田病院薬剤部
2 月 20 日	2 月 20 日	薬剤業務推進のための講演会	神奈川県病院薬剤師会
2 月 21 日	2 月 21 日	薬剤師のための災害医療スキルアップセミナー① in 川崎	川崎市薬剤師会/大塚製薬
2 月 22 日	2 月 22 日	JASPO 臨床研究セミナー (ベーシックコース)	臨床腫瘍薬学会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
2月25日	2月25日	J-SIPHE 活用 Web セミナー	AMR 臨床リファレンスセンター
2月27日	2月27日	令和6年度 TDM 研修会	神奈川県病院薬剤師会
3月10日	3月10日	神奈川県下病院薬剤師パネルディスカッション	スズケン
3月15日	3月16日	日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025	日本臨床腫瘍薬学会
3月17日	3月17日	第18回神奈川県病院薬剤師感染症フォーラム	神奈川県病院薬剤師会
3月18日	3月18日	川崎市院外処方新プロトコール Web 研修会	川崎市薬剤師会
3月23日	3月23日	サイエンス漢方処方研究会シンポジウム	サイエンス漢方処方研究会
3月23日	3月23日	第5回神奈川 PhDLS	神奈川 PhDLS 開催事務局

(5) 看護部

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月4日	3月24日	認定看護師教育課程 特定行為研修を組み込んでいる教育課程 糖尿病看護学科	日本看護協会
5月17日	7月28日 10月25日	認定看護管理署教育課程 ファーストレベル	昭和大学看護キャリア開発・研究センター
5月23日	7月25日	認定看護管理署教育課程 ファーストレベル	湘南医療大学
4月25日	8月30日	認定看護管理署教育課程 セカンドレベル	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター
10月4日	2月28日	認定看護管理署教育課程 セカンドレベル	神奈川県看護協会
9月6日	3月14日	認定看護管理署教育課程 サードレベル	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター
5月31日	7月6日	医療安全管理者養成研修	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
10月1日	1月26日	医療安全管理者養成研修	神奈川県看護協会
6月4日	6月7日	保健師・看護師等基礎実践コース	結核予防会結核研究所
10月1日	10月4日	保健師・看護師等基礎実践コース	結核予防会結核研究所
8月10日		第39回神奈川ストーリーナビリテーション講習会	聖マリアンナ医科大学病院
6月28日	9月30日	'24重症度、医療・看護必要度評価者及び院内指導者研修	日本臨床看護マネジメント学会
6月7日		看護実践がみえる看護記録を目指して～形式監査・質監査～	神奈川県看護協会
7月1日		ファシリテーションスキルを学ぼう～短時間でも成果が出せる場づくり	神奈川県看護協会
7月11日		主任看護師が取り組む問題解決	神奈川県看護協会
7月24日		がん薬物療法を受ける患者の看護～その人らしい生活を支援する～	神奈川県看護協会
7月29日	7月30日	感染リンクナースのための感染管理	神奈川県看護協会
7月1日	8月3日	外来における在宅療養支援能力向上のための研修	神奈川県看護協会
8月10日		看護管理者が「適時調査」にむけて準備しておくべきこと	神奈川県看護協会
10月1日	11月17日	2024年度災害支援ナース養成研修①	神奈川県看護協会
11月19日	11月20日	高齢者支援と認知症患者の看護	神奈川県看護協会
11月8日		超高齢社会で注目されるフレイル～看護師ができるフレイル予防～	神奈川県看護協会
2月12日		「食べる」を支える～摂食嚥下障害看護のエキスパートから学ぶ誤嚥性肺炎の予防と口腔ケア～	神奈川県看護協会
5月25日	5月26日	ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム	川崎市立井田病院
11月29日	12月6日	ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム	川崎市看護協会
9月1日		第4回リハビリテーションガイドライン研修	日本腎臓リハビリテーション学会

(6) 食養科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月13日	4月13日	「摂食・嚥下機能に合わせた食事の支援」～補助栄養食品を利用して経口摂食を増加させる方法～	川崎市病院栄養管理部会
4月18日	4月18日	「耳鼻咽喉科医による訪問診療での嚥下内視鏡検査について」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー
5月15日	6月14日	GLIM基準の理解と実践のためのオンデマンド講座	日本栄養士会
5月16日	5月16日	「診療報酬と共に歩む管理栄養士の未来」	神奈川県栄養士会医療事業部会
5月22日	6月5日	「診療報酬改定と現場で取り組むべき事」	ネスレ臨床栄養セミナー ネスレ日本株式会社
5月28日	5月28日	「歯科を味方にする口腔連携強化加算」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー
6月1日		「GLIM基準による低栄養診断の実践」	森永乳業クリニコ株式会社
6月26日	6月26日	「オーラルフレイルー口の衰えを理解しようー」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー
6月29日	6月29日	『アウトカムの向上を目指そう！自信が持てる栄養指導』	臨床栄養学セミナーⅠ 神奈川県栄養士会医療事業部会
7月20日	7月21日	第11回 JADEC 年次学術集会	日本糖尿病協会
7月27日	7月27日	「かむ飲み込むが難しい人のごはん」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー
8月6日	8月6日	「摂食嚥下障害の評価・検査」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー
9月4日	9月4日	「救急・集中治療領域での栄養管理の基礎」	otsuka 急性期栄養管理セミナー2024 株式会社大塚製薬工場
9月5日	9月5日	「嚥下機能に影響のある薬と上手な薬の飲み方」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー
10月12日	10月12日	「どうする嚥下障害～誤嚥性肺炎の治療は抗菌剤だけではない～」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 市民公開講座
10月13日	10月13日	全国栄養改善大会	日本栄養士会・全国栄養士養成施設協会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
10月9日	12月8日	全国栄養士大会 2024	日本栄養士会
10月19日	10月19日	「最近の食中毒の発生動向と効果的な食中毒の予防と対策」 「食中毒の発生時の対応」	2024年度第3回研修会 川崎市病院栄養管理部会
11月14日	11月14日	うちの栄養管理シリーズ 心不全	森永乳業クリニコ株式会社
12月18日	12月18日	ネットワークミーティング～誤嚥性肺炎、経口摂取不良を支えるチーム作り～	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー
1月17日	1月19日	第28回日本病態栄養学会 年次学術集会	日本病態栄養学会
2月1日	2月1日	「災害対策～他施設の取り組みをヒントに～」	神奈川県栄養士会医療事業部会
2月6日	2月6日	いま話題の地域包括医療病棟を知ろう	令和6年度第2回地域医療構想普及促進事業研修会 神奈川県医師会
2月9日	2月9日	第2回日本病態栄養学会関東甲信越地方会	日本病態栄養学会
2月14日	2月15日	第40回日本栄養治療学会学術集会	日本栄養治療学会
3月12日	3月12日	栄養管理・体液管理に役立つ実践フィジカルアセスメント	大塚製薬工場

(7) 地域医療部

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
6月15日	6月16日	第72回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会	日本医療ソーシャルワーカー協会
8月1日	8月2日	がん相談支援センター 相談員基礎研修3	国立がん研究センター
9月18日		はじめてのデータ活用術（オンライン）	日本医療ソーシャルワーカー協会
11月13日		Ns と MSW の協働による受診・治療継続が困難な患者への支援の取り組み（オンライン）	日本医療ソーシャルワーカー協会
12月11日		エイズ治療中核拠点病院における先駆的連携活動の実際	日本医療ソーシャルワーカー協会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
1月31日		外来ソーシャルワークを考える (オンライン)	日本医療ソーシャルワーカー協会
7月4日		地域包括ケアにつなげる入退院支援～ 生活者としてその人を見る～	神奈川県看護協会
7月13日		在宅療養者の家族看護	神奈川県看護協会 川崎ナーシングセンター
7月20日	7月21日	第6回日本在宅医療連合大会	在宅医療
10月23日	11月24日	この激動の時代に看護の原点に立ち戻る	木村看護教育振興財団
10月28日		退院支援看護師として必要情報と支援策	日総研
11月27日		看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア全国セミナー	日本看護協会
12月16日		看護管理者が押さえておくべきハラスメント	神奈川県看護協会
12月		退院支援の仕組み作り	mhank
12月9日	2月28日	がん相談支援センター相談員研修 基礎研修(1)(2)研修終了コース	国立研究開発法人 国立がん研究センター
1月24日		心のザワザワがなくなる比べない習慣 スピリチュアルケア	神奈川県看護協会 川崎ナーシングセンター
1月24日	2月29日	平和6年度両立支援コーディネーター 基礎研修	独立行政法人労働者健康安全機構
1月27日		医療安全講演会	神奈川県看護協会
2月1日		トップマネージャーが切り開く病院経営	愛知県立看護実践センター
3月8日		家族看護専門看護の活用について	東海大学院公開講座

2 実習指導

(1) 薬剤部

期 間	実習指導名	学 校 名	担当課	人数
5月20日～8月4日	病院実務実習	慶應義塾大学	薬剤部	1
5月20日～8月4日	病院実務実習	横浜薬科大学	薬剤部	1
8月19日～11月7日	病院実務実習	慶應義塾大学	薬剤部	1
8月19日～11月7日	病院実務実習	横浜薬科大学	薬剤部	1

(2) 看護部

期 間	実習指導名	学 校 名	担当課	人数
5月20日～5月31日	がん看護学実習Ⅱ	日本赤十字看護大学大学院	看護部	1
5月20日～5月22日	成人看護実践論B（終末期にある人の看護）①	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	3
5月27日～6月7日	成人・老年看護学実習Ⅱ	横浜中央看護専門学校	看護部	5
5月27日～6月11日	統合実習（慢性領域）	神奈川県立保健福祉大学	看護部	3
7月9日～7月25日	成人看護実践論Ⅰ	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	1
7月1日～7月12日	基礎看護学実習Ⅱ（前半）	川崎市立看護大学	看護部	20
7月22日～8月2日	基礎看護学実習Ⅱ（後半）	川崎市立看護大学	看護部	20
8月13日～8月23日	成人看護実践論Ⅱ	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	4
8月29日～9月10日	基礎看護実習	武蔵野大学	看護部	12
9月2日～9月13日	成人・老年看護学実習Ⅱ	横浜中央看護専門学校	看護部	5
9月17日～9月19日	成人看護実践論B（終末期にある人の看護）②	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	2
9月17日～11月15日	成人・老年看護学実習Ⅰ	川崎市立看護大学	看護部	55
9月30日～11月1日	成人看護学（慢性期）実習	神奈川県立保健福祉大学	看護部	20
9月30日～10月11日	成人・老年看護学実習Ⅲ（1・2クール）	川崎市立看護大学	看護部	24

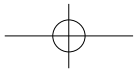
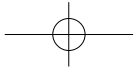
期 間	実習指導名	学 校 名	担当課	人数
10月7日～10月9日	成人看護実践論B（終末期にある人の看護）③	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	3
10月15日～11月6日	成人看護学（慢性期）外来実習	神奈川県立保健福祉大学	看護部	4
10月15日～10月22日	終末期ケア実習①	慶応義塾大学	看護部	4
10月28日～10月30日	成人看護実践論B（終末期にある人の看護）④	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	2
11月11日～11月13日	成人看護実践論B（終末期にある人の看護）⑤	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	3
11月18日～11月29日	基礎看護学実習Ⅰ	川崎市立看護大学	看護部	40
11月18日～12月5日	成人・老年看護学実習Ⅲ（3～5クール）	川崎市立看護大学	看護部	29
11月26日～12月9日	統合実習	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	8
12月2日～12月10日	終末期ケア実習②	慶応義塾大学	看護部	4
1月14日～1月21日	終末期ケア実習③	慶応義塾大学	看護部	4
12月9日～12月18日	老年看護学	聖路加国際大学	看護部	8
11月25日～12月20日	認定看護師教育課程	聖路加国際大学	看護部	2
1月8日～1月23日	基礎看護実践論Ⅱ	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	8
1月29日～2月14日	慢性期看護実習	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	8
合計				302

(3) 検査科

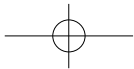
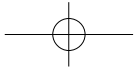
期 間	実 習 指 導 名	学 校 名	担当課	人数
5月13日～8月16日	臨地実習	湘央医学技術専門学校	検査科	2
5月13日～8月23日	臨地実習	北里大学保健衛生専門学院	検査科	2

(4) 地域医療部

期 間	実 習 指 導 名	学 校 名	担当課	人数
7月3日	在宅医療連携研修	公益社団法人川崎市看護協会	地域医療部	4



VII 委員会



2024年度 院内各種委員会一覧
 ＊掲載内容は2024年度のもの

No.	名 称	委員長	役職	実施時期
	目的や内容			
1	医療安全管理委員会	伊藤 大輔	病院長	毎 月
	医療事故の防止策の企画立案、患者の安全確保、適切な医療の提供体制の確立、安全に係る委員会の統括			
2	医療安全部会	西尾 和三	内科部長	毎 月
	インシデントレポート・事故報告書の事例分析、安全対策の実施			
3	検査診断報告書等確認対策部会	西尾 和三	内科部長	毎 月
	画像診断報告書、病理診断報告書の確認漏れのチェック、及び報告書管理のための支援と業務管理			
4	院内感染対策委員会	中島 由紀子	感染症内科部長	毎 月
	院内感染の予防策の作成、予防対策の監視・指導等による感染防止			
5	感染部会	中島 由紀子	感染症内科部長	毎 月
	患者・職員における感染対策の徹底と質の向上			
6	輸血療法委員会	中塚 逸央	麻酔科部長	隔 月
	輸血の安全確保、事故防止、輸血業務の適正・円滑な処理、血液製剤の有効利用の向上			
7	放射線安全委員会	山下 三代子	放射線診断科部長	随 時
	放射線障害の防止、安全の確保、放射線発生装置の安全管理の徹底			
8	医療ガス安全管理委員会	中塚 逸央	麻酔科部長	年1回
	医療ガス設備の安全管理による患者の安全確保			
9	衛生委員会	鈴木 貴博	副院長	毎 月
	職員の健康障害の防止と健康の保持増進及び職場環境の改善			
10	働き方改革推進委員会	伊藤 大輔	病院長	随 時
	病院職員の勤務環境を改善する取組の推進、医師や看護職員の負担の軽減、処遇改善に関する取組計画を作成し、評価や見直しを行う			
11	薬事委員会	小林 岳	副薬剤部長	毎 月
	医薬品の適正管理、効率的な運用の審議、薬物療法の向上			
12	医療機器管理委員会	中塚 逸央	麻酔科部長	随 時
	院内に配置されている医療機器の管理・調整			
13	透析機器安全管理委員会	滝本 千恵	腎臓内科部長	随 時
	透析液水質確保加算の施設基準届出に必要となる適切な水質管理実施や透析機器等の管理計画の作成			
14	医療放射線管理委員会	山下 三代子	放射線診断科部長	随 時
	放射線診療のプロトコール管理、被ばく線量管理、放射線の過剰被ばくその他放射線診療に関する事例発生時の対応等、診療用放射線の安全利用に係る管理			
15	医療事故防止対策委員会	西尾 和三	内科部長	随 時
	診療内容の監査機関			
16	治験・臨床研究倫理審査委員会	鈴木 貴博	副院長	隔 月
	倫理的、科学的及び医学的妥当性の観点から治験・臨床研究の実施及び継続の審議			
17	倫理委員会	上田 誠司	副院長	随 時
	医療行為に関し、倫理的・社会的観点からの審査			
18	保険委員会	岩山 壮吉	婦人科部長	毎 月
	保険診療及び保険請求の適正化向上			
19	DPC委員会	荒川 清隆	医事課長	毎 月
	DPC制度に関する研修の実施			
20	診療情報管理委員会	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎 月
	入院外来等診療情報の管理・運用の向上、システムの検討			
21	医療情報システム安全管理部会	田中 良典	事務局長	随 時
	電子カルテシステムをはじめ、各部門システムについての協議・検討			
22	診療録管理委員会	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎 月
	サマリの作成、推進、管理、カルテ、訪問記録の質的向上の検討			
23	救急医療運営委員会	田熊 清継	救急総合診療センター所長	毎 月
	救急医療の取り組みの充実・強化			
24	当直検討部会	田熊 清継	救急総合診療センター所長	毎 月
	当直業務における問題点、課題の共有と解決策の検討			
25	院内救急対応部会	中垣 達	呼吸器内科副医長	毎 月
	救急医療チームの院内急変対応・対策について検討する			
26	RST（呼吸サポートチーム）部会	西尾 和三	内科部長	毎 週
	R S Tの運用等に関することを検討する			
27	災害時医療等委員会	下澤 信彦	緩和ケア内科担当部長	毎 月
	災害医療に関する準備、企画検討、訓練の実施			
28	DMA T部会	下澤 信彦	緩和ケア内科担当部長	毎 月
	DMA Tの運用について検討を行う			

No.	名 称	委員長	役職	実施時期
	目的や内容			
29	地域連携委員会	小杉 道男	泌尿器科部長	毎 月
	地域の医療機関との連携及び支援の推進、地域医療支援病院の認定を図る			
30	地域がん診療連携拠点病院推進委員会	嶋田 恭輔	乳腺外科部長	毎 月
	地域がん診療連携拠点病院としての体制整備・推進			
31	がん患者の病態に応じた、より適切ながん医療の提供を図る	嶋田 恭輔	乳腺外科部長	随 時
32	化学療法管理委員会	西尾 和三	内科部長	毎 月
	実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性の評価・承認			
33	クリニカルパス委員会	小杉 道男	泌尿器科部長	隔 月
	クリニカルパスの作成・運用			
34	褥瘡対策委員会	安西 秀美	皮膚科部長	隔 月
	褥瘡対策の企画立案、対策の推進、管理・運営			
35	NST(栄養サポートチーム)運営委員会	栗原 夕子	内科担当部長	毎 月
	栄養管理を通し、安全で効率的な医療サービスの提供へ寄与			
36	給食委員会	栗原 夕子	内科担当部長	隔 月
	食事療法の質の向上			
37	職員研修委員会	鈴木 貴博	副院長	随 時
	教育研修に関する企画・実行・評価による職員の資質の向上			
38	研修管理委員会	中野 泰	呼吸器内科担当部長	随 時
	初期臨床研修の企画立案、運用管理			
39	看護師特定行為研修部会	鈴木 貴博	副院長	随 時
	地域における医療・介護の総合的な確保を推進するため、特定行為を実施する看護師を計画的に養成			
40	図書委員会	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎 月
	図書室の適正な運用と医療情報の収集・提供による職員の業務の向上			
41	機種・診療材料選定委員会	上田 誠司	副院長	随 時
	導入する機器の仕様決定、公平かつ適正な機種確保及び医療機器の試用の検討、効率的な物品調達			
42	市民交流・サービス向上委員会	篠山 薫	副院長	毎 月
	患者サービスの向上及び職場環境の向上			
43	ホームページ・広報委員会	田中 良典	事務局長	随 時
	ホームページの管理、広報「井田山」の編集企画、発行管理			
44	臨床検査管理委員会	岩田 壮吉	婦人科部長	随 時
	臨床検査の適正化・能率化を図る			
45	外来診療委員会	西尾 和三	内科部長	随 時
	外来診療に関する諸問題の調整・検討			
46	手術部委員会	中塚 逸央	麻酔科部長	毎 月
	手術室の有効な運営管理を図る			
47	HCU委員会	中塚 逸央	麻酔科部長	隔 月
	HCU・CCUの有効な運営管理を図る			
48	院内がん登録運用委員会	上田 誠司	副院長	随 時
	地域がん診療連携拠点病院の指定要件A項目に追加された要件、「院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行う機関（委員会）を設置している」への対応			
49	地域包括ケア病棟運営委員会	三島 牧	脳神経外科部長	隔 月
	地域包括ケア病棟への入院の可否の判定、入院順位の決定、その他入院に関すること			
50	緩和ケア委員会	久保田 敬乃	緩和ケア内科部長	毎 月
	緩和ケアの提供、運用が適切・円滑に行われるよう体制の整備・促進を図る			
51	がんサポート・緩和ケア部会	増田 香織	緩和ケア内科医長	随 時
	がん患者とその家族に対し、質の高い緩和ケアを提供し、QOLの向上を目指す			
52	病床管理運営委員会	上田 誠司	副院長	随 時
	病床の適正な管理運営を図るとともに、病棟の個室料金についても検討する			
53	ハラスメント防止対策委員会	伊藤 大輔	病院長	随 時
	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント及び妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止及び対策を講じる			
54	糖尿病サポートチーム運営委員会	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎 月
	糖尿病ケアの向上			
55	認知症ケア委員会	三島 牧	脳神経外科部長	毎 月
	認知症ケアの質の向上			
56	病院機能評価対策委員会	鈴木 貴博	副院長	随 時
	病院機能評価受審にあたり諸課題の検討・解決策の企画立案			

1 医療安全管理委員会

毎月第4木曜日を定例日として開催しました。医療安全部会・を下部組織に持ち、院内感染対策委員会、輸血療法委員会、放射線安全委員会、医療ガス安全管理委員会、衛生委員会、薬事委員会、医療機器管理委員会を統括しており、各委員会での決定事項の周知の徹底と提案事項の検討及び承認、懸案事項についての検討を図りました。

(文責 [医療安全管理室] 小海 照美)

2 医療安全部会

毎月第3火曜日を定例日として、各部門の毎月のインシデント報告の集計や医療安全情報の共有とともに、個々の事例の原因分析や再発防止策の具体的検討などを行いました。

2024年度は、「転倒転落対策チーム」「患者誤認防止対策チーム」「5S活動推進チーム」と3つのチームに分かれ活動し、それぞれのチームで患者参加型の安全対策に取り組みました。今後も患者参加型の医療安全推進活動に取り組んでいきます。

(文責 副委員長 [医療安全管理室] 小海 照美)

3 検査診断報告書等確認対策部会

毎月第4木曜日を定例日として開催しました。検査診断報告書等確認対策部会は、検査課、病理診断科、放射線診断科、庶務課、医事課、医療安全管理室で連携し報告書の確認漏れがないように相互チェックに取り組みました。

(文責 副委員長 [医療安全管理室] 小海 照美)

4 院内感染対策委員会

毎月第2月曜日を定例日として、BSI(中心静脈カテーテル由来血流感染)、UTI(尿道留置カテーテル関連尿路感染)、SSI(手術部位感染)サーベイランス結果、針刺し・切創・粘膜暴露事例の報告、研修会開催の周知、感染症発生時の事例報告と対策の共有、院内ラウンド結果の共有を行います。検査科からは血液培養汚染率・転入院患者の保菌状況・耐性菌検出状況の報告があります。薬剤部からは、広域抗菌薬の使用状況、長期使用患者数、AST 介入状況等について報告があります。

(文責 副委員長 [感染対策室] 福島 貴子)

5 感染部会

感染部会は院内感染対策委員会の下部組織として設置し、日々の感染対策の見直し・改善・啓発活動に取り組んでいます。部会の構成部署は、診療部・看護部・薬剤部・検査科・放射線科・リハビリテーション科・ME 管理室・栄養科・事務部門で、組織的な活動を継続して実施しています。感染部会の活動報告を含めた「感染対策の基本」の院内感染研修会を実施しました。

活動内容について

(院内教育) 感染対策の知識を深めるために手指衛生と手荒れについての勉強会を企画実施しました。また、その内容を各部署で伝達講習を行い、知識の向上を推進しました。

(業務見直し) 主に部門ごとのマニュアルや手順書の見直し・修正を実施しました。点滴処置台の清拭消毒方法につ

いてポスターを作製し、周知を行いました。今後も適宜見直しを行い、対策の実施に取り組んでいきます。

(手指衛生) 感染対策の基本となる手指衛生を推進するため、毎月の使用量調査や啓発活動を実施しました。各部署別の個人使用量の上位ランク者についてポスターを作製し掲示しました。今後も適切な場面で手指衛生が実施できるよう調査の実施やフィードバックによる啓発活動を行っていきます。

(院内ラウンド・見える化) 汚物廃棄時の飛散状況について蛍光剤を使用して、状況を再現可視化し、日常的な行動のどこに汚染やリスクがあるのかを明確にしました。今後も感染対策の観点から、院内の様々な場所の現状調査と改善を行っていきます。

(文責 副部会長 [感染対策室] 福島 貴子)

6 輸血療法委員会

2024年度の輸血療法委員会は、6回開催しました。血液製剤の使用状況や院内輸血療法に関する問題点、改善点等を中心に、輸血療法の適正化に努めました。

1 主な検討項目

- 廃棄血液削減に向けた取り組み 新鮮凍結血漿備蓄製剤の内容見直し
- 輸血セットの変更
- 院内統一輸血マニュアルの改訂
- 病院機能評価受審に向けた準備

2 輸血用血液製剤の使用状況

輸血管理料Ⅱ(110点)+適正使用加算(60点)取得しています。

血液製剤	単位数
赤血球製剤	2,051
新鮮凍結血漿製剤	50
濃厚血小板製剤	1,065
HLA 適合血小板製剤	0
洗浄血小板製剤	0
自己血	72
合計	3,238
輸血患者数(実人数)	580
FFP/RBC比(0.27以下)	0.02

アルブミン製剤	本数
高張アルブミン [12.5g/50ml/瓶]	325
等張アルブミン [11.0g/250ml/瓶]	57
アルブミン使用量(g)	4,692.5
アルブミン使用量(単位)	1,564.2
投与患者数(実人数)	84
アルブミン使用比(2.0以下)	0.7

3 副作用報告

副作用発生は13名、11症状でした。副作用報告内訳は以下の通りです。

投与製剤	赤血球製剤	新鮮凍結血漿製剤	血小板製剤	自己血	合計
報告数	11	0	1	1	13

4 院内研修会

本年度は2回開催しました。

第1回2024年10月25日「輸血用血液製剤の取り扱い」

講師 神奈川赤十字血液センター学術課 平柳氏

第2回2025年3月 「覚えておこう輸血のポイント」

編集担当 検査科 矢野佐知子

第1回は輸血関連部署配属の新人職員を対象に、第2回は誌面開催方式で関係各部署へ資料を配布し研修としました。

本年度も無事故であったことを皆様に感謝致します。

(文責 委員会事務局 矢野 佐知子、委員長 中塚 逸央)

7 放射線安全委員会

放射線安全委員会は、放射性同位元素等の規制に関する法律（昭和32年法律第167号）に基づいて定めた「井田病院放射線障害予防規程」により、放射線発生装置を安全に管理、運用するため、必要な事項について調査及び審議を行っています。

当委員会による、主な報告事項は以下のとおりとなります。

- ・放射線業務従事者の管理状況について
- ・放射線管理状況報告書の原子力規制委員会への提出について
- ・放射線施設自主点検結果について
- ・医用放射性廃棄物の廃棄状況について
- ・放射線治療関連機器の管理状況について
- ・放射線計測器の標準校正について

(文責 [放射線治療科 部長] 栗林 徹)

8 医療ガス安全管理委員会

2024年度は、2月20日（木）に委員会を開催しました。

委員会の中で、2023年度の医療ガス設備保守点検は、6・9・12・3月に実施したこと、各病室等に設置してあるアウトレットバルブやスライドベースに各所で緩みがある箇所を、増し締めして対応したこと、その他には異常がないことが報告されました。また、点検以外の措置として、オペ室ステーション内医療ガス警報盤（酸素以外）のセンサー交換、マニフォールド室内にある空気除湿装置（エアラインスターE900D）No. 1ラインのプレフィルター、アフターフィルター、ファインフィルター、ファイナルフィルターの交換作業、窒素の圧力表示盤の基板交換、本館系統の吸引ポンプNo. 2の交換作業をそれぞれ実施したことが報告されました。

次に、CE設備（液酸タンク）定期自主検査を7月と1月に実施し、それぞれ異常がなかったこと、医療ガス設備の日常点検についても、異常や故障等がなかったことが報告されました。

他に、2023年度病院立入検査（医療監視）の中で、医療ガス設備の書類審査の結果、特に指摘事項等がなかったことが報告されました。

医療ガス安全点検に係る業務の監督責任者に中塚委員長、実施責任者に濱田副委員長が任命されました。

(文責 書記 [庶務課] 月岡 弘孝)

9 衛生委員会

〔構成〕

衛生委員会は、毎月第3木曜日に開催し、今年度は12回開催しました。

委員の構成は医師5名（産業医4名含）、衛生管理者1名、看護師2名、診療放射線技師1名、庶務課事務職1名、労働組合員7名、保健相談員1名の計18名となっています。

労働安全衛生法第18条に基づき、職員の健康障害の防止と健康の保持増進および快適な職場環境の形成促進を目的としており、公務災害の原因および再発防止対策で衛生に係わるもの、その他衛生管理に関する事項について調査・審議しました。

〔定期健康診断等〕

例年のとおり、定期健康診断（雇入れ時健診・人間ドック含む）、深夜業務従事者健康診断、電離放射線業務者健康診断等の健診を行いました。表1に健康診断受診状況を示します。

〔各種ワクチン接種〕

抗体価の著しく低い職員に対し、B型肝炎、麻疹、風疹、水痘及びムンプスのワクチン接種をしました。また、秋には原則的に全職員に対してインフルエンザワクチンの接種を行い、さらに希望者に対して新型コロナウイルスワクチンの接種を行いました。表2に接種状況を示します。

〔公務災害等〕

2024年度の公務災害及び通勤災害の認定請求件数は12件でした。針刺し事故の中で、血液媒介型感染リスクのあるものは0件でした。表3に請求状況を示します。

〔職場巡視〕

産業医・衛生管理者の視点から、安全衛生についての目的を定めて巡視を行い、各職場へのフィードバックに努めました。

（文責 書記〔庶務課〕佐藤 雅美）

表1 2024年度 定期健康診断等受診状況

健康診断（検診）の内容	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
定期健康診断	736	714	97.01%
電離放射線健康診断（前期）	116	106	91.37%
電離放射線健康診断（後期）	114	105	92.10%
有機溶剤等取扱者健康診断（前期）	6	5	83.33%
有機溶剤等取扱者健康診断（後期）	5	5	100%

表2 2024年度 ワクチン接種状況

ワクチンの種類	接種者数（人）
HBワクチン	21
麻疹ワクチン	38
風疹ワクチン	20
麻疹風疹混合ワクチン	0
水痘ワクチン	3
ムンプスワクチン	18
インフルエンザワクチン	906
新型コロナウイルスワクチン	266

表3 2024年度 公務災害請求状況

疾病名	職種	被災日	治療	種類
右母指MP関節捻挫症	看護師	2024/4/5	通院	公務災害
左足関節外側靱帯損傷・左第5中足骨骨折	医師事務作業補助	2024/4/18	通院	公務災害
胸骨骨挫傷・左肘打撲症	事務職員	2024/5/8	通院	通勤災害
臀部・後頭部打撲	看護助手	2024/5/16	通院	公務災害
左眼かゆみ	看護師	2024/6/3	通院	公務災害
右膝打撲傷	看護師	2024/9/10	通院	通勤災害
左頬部打撲・左下腿打撲	看護師	2024/10/17	通院	公務災害
左頬打撲・右下肢打撲	看護師	2024/10/18	通院	公務災害
打撲傷	看護師	2024/11/26	通院	公務災害
腰部打撲	医師	2024/12/11	通院	公務災害
後頭部打撲による皮下出血・腰部打撲	看護助手	2024/12/20	通院	公務災害
右示指挫創	薬剤師	2025/3/12	通院	公務災害

10 働き方改革推進委員会

働き方改革推進委員会は、井田病院に勤務する病院職員の勤務環境の改善、医師及び看護職員の負担の軽減ならびに処遇の改善に関する取組計画を作成し、評価や見直しを行うことを目的としています。当委員会を設置するまでは病院職員の勤務環境等については他の会議や委員会等で議論していましたが、2018年2月に厚生労働省の医師の働き方改革に関する検討会より「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」が示されたこともあり、川崎市病院局の方針として井田病院においても、2018年10月に当委員会を独自に設置する運びとなりました。

委員会では、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の評価及び見直しを行うほか、医師労働時間短縮計画の作成やタスクシェアの推進及び課題等についての意見交換を行いました。また、医師に対する時間外労働の上限規制に対応するため、医師就業管理システムを導入し出勤管理及び時間外管理を徹底し、月80時間を超える医師について、所属診療科で改善策を講じるとともに、面接指導実施医師による面接指導を計画に沿って適切に実施しました。

今後も病院職員のワークライフバランスの拡充に向けた取組の推進など勤務環境改善のため委員会としての役割を担っていきたいと考えております。

(文責 委員長[病院長] 伊藤 大輔)

11 薬事委員会

薬事委員会は、開催日を毎月第4月曜日と規定し、2024年度は7回開催しました。

委員の構成は、医師8名、看護師1名、検査技師1名、医事課事務職1名、薬剤師2名の計13名です。

院内・外で使用する医薬品や検査試薬等に関する新規採用の可否および採用中止薬品についての審議のみならず、

医薬品に関する様々な情報の共有や、問題点の検討等も行っております。

1. 院内院外共通採用薬及び院外専用採用薬の審議について

新規採用の申請医薬品は「薬事委員会要綱」に基づいて審議し、その結果を院長等に答申し、承認を得て使用可能となります。

2024年度に答申・承認された医薬品は、院内院外共通採用薬：30品目、院外専用採用薬：16品目でした。また、一定期間使用実績のない薬品について、院内採用を取りやめる取り組みを行うことにより採用薬品数の削減にも努めています。

後発医薬品への切り替えも鋭意進めており、2024年度末における後発医薬品使用率(数量ベース)は、94.3%であり、国の指標とする80%をクリアしています。

2. 薬事委員会の議事録要旨

薬事委員会の議事録要旨は、その都度、電子カルテトップ画面、薬事委員会からのお知らせに掲示しています。

(文責 [薬剤部] 藤原 史江)

12 医療機器管理委員会

医療機器管理委員会では、医療機器の保守点検計画の策定、保守点検の実施状況の確認、医療機器に関する教育研修の実施、安全情報の周知など、医療機器の適正な運用・管理について検討を行っております。

委員会は隔月(偶数月)の第4水曜日に開催しており、2024年度の主な活動内容は以下のとおりです。

- ①医療機器に関する情報の集約(購入、廃棄、院内配置状況等)
- ②医療機器年間保守計画書の作成および実施状況の確認
- ③医療機器研修の実施および各部署での研修実施状況の把握
- ④医療機器に関する安全情報の共有および検討

今後も、医療機器管理委員会では、医療機器の安全かつ適正な運用・管理に努めてまいります。

(文責 副委員長[MEセンター担当係長] 千葉 真弘)

13 透析機器安全管理委員会

透析で使用する透析用水は、洗浄・準備・治療における全ての工程で使用するため、適切な品質管理が求められます。加えて、透析装置は高度管理医療機器に該当するため適切な保守管理も求められます。当委員会では、これらの品質管理および保守管理の状況を毎月確認しており、問題が発生した際には速やかに改善に向けた対策を検討しております。

2024年度におきましても、これまでと同様に適切な管理が実施され、透析用水・透析装置ともに高い水準を維持することができました。今後も、引き続き細心の注意を払い、適切な管理に努めてまいります。

(文責 副委員長[MEセンター担当係長] 千葉 真弘)

14 医療放射線管理委員会

医療放射線管理委員会は、医療法施行規則の一部を改正する省令（平成 31 年厚生労働省令第 21 号）に基づいて定めた「診療用放射線の安全利用のための指針」により、診療用放射線の安全かつ有効な利用を確保するため、必要な事項について調査及び審議を行っています。

当委員会による、主な報告事項は以下のとおりとなります。

1）放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修について

研修は「医療用診療放射線の利用に係る安全管理のための研修」のテキストを配布し、確認問題の解答をもって研修修了としています。研修対象者は 214 名であり、その内訳は、医師 92 名 (66.3%)、看護師 67 名 (84.6%)、臨床工学技士 8 名 (100%)、診療放射線技師 23 名 (100%)、医師事務 23 名 (100%)、管理係 1 名 (100%) となっています。なお、カッコ内の数値は確認問題の回収率を示します。

2）診療用放射線の安全利用のための研修の体制に係る細則の改定について（令和 7 年 4 月施行）

研修対象者に対する研修は、研修項目を複数年にわたる年度計画を策定して行う方式から、単年度で研修項目すべてについて行う方式への改定を行いました。

3）線量管理の対象となる医療機器に応じた実施記録の管理について

CT の線量管理は、CT 診断参考レベルと当院の CT 線量との比較。IVR の線量管理は、IVR 装置の更新前後の透視線量の比較を行い、プロトコルの最適化を図っています。

なお、本指針は、電子カルテのトップページ お知らせ欄の「放射線科」に掲載されています。

（文責 委員長 [放射線診断科部長] 山下 三代子）

15 医療事故防止対策委員会

医療事故防止対策委員会は、医療事故の原因究明と再発防止を目的に開催します。2024 年度は 1 回開催しました。

（文責 医療安全管理室担当課長 小海 照美）

16 治験・臨床研究倫理審査委員会

本委員会は、井田病院において実施予定の治験や臨床研究について、倫理的、科学的及び医学的・薬学的観点から、実施の妥当性を審査しています。

2024 年度は 3 回開催し、治験 0 件、臨床研究 17 件、製造販売後調査 2 件について審査を行いました。

本委員会の手順書、委員名簿及び議事録は、井田病院のホームページに掲載しています。

（文責 委員会事務局 [薬剤部] 小林 岳）

17 倫理委員会

当委員会は、院内で行われる医療行為及び医学の研究について、倫理的、科学的及び社会的観点から審査を行うことを目的としており、2024 年度は、次のとおり 3 件について審査を行いました。

（文責 書記 [庶務課] 佐藤 雅美）

	開催日	検討課題	審議の結果
第 1 回	5 月 7 日	有棘細胞癌に対する C' A' 療法のレジメン登録	承認しました。
第 2 回	3 月 12 日	希少がんである尿膜管癌に対する治療に関して	承認しました。
第 3 回	3 月 12 日	内視鏡的下咽頭腫瘍切除後の狭窄予防のためのステロイド局注	承認しました。

18 保険委員会

当委員会は、保険診療及び診療報酬請求の適正化・向上を目的として活動しています。

委員の構成は、医師 20 名、看護師 1 名、薬剤師 1 名、臨床検査技師 1 名、診療放射線技師 1 名、事務職員 5 名の計 29 名です。

査定内容を審査支払機関ごとに分析し、医学的判断による査定については積極的に再審査請求を実施した結果、2024 年度の査定率は 0.15%となりました。

保険診療の適正化及び診療報酬請求の精度向上の取り組みとして、外部講師による診療報酬勉強会を開催しました。初期研修医及び専攻医を中心に、保険医療制度や保険医療費担当規則、DPC 制度について理解を深めました。

今後も適正な保険診療・診療報酬請求が行えるよう活動を継続して行なってまいります。

(文責 書記[医事課]高橋 さおり)

19 DPC委員会

当委員会は、「適切な DPC コーディング」を行う体制の構築・維持を目的とし活動しています。

委員の構成は、医師 20 名、看護師 1 名、薬剤師 1 名、臨床検査技師 1 名、診療放射線技師 1 名、事務職員 5 名（診療情報管理士 1 名）の計 29 名です。

当院は DPC 対象病院として 14 年目となりました。

DPC 制度の概要、DPC データの分析結果について勉強会を実施し、DPC についての理解を深めました。

2003 年の発足当初は 1860 で開始した診断群分類も今では 4000 を超え、より精度の高い DPC コーディングが求められています。今後も医師、診療情報管理士、DPC 担当者が協力し適切な DPC コーディングができるよう、体制の構築・維持に努めてまいります。

(文責 書記 [医事課] 高橋 さおり)

20 診療情報管理委員会

本委員会は医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、医事課、庶務課、富士通のシステムエンジニア（以下、S.E）等の委員で構成されており、今年度は 11 回委員会を開催しました。

本委員会では、病院業務の中で生じた電子カルテ等のシステム上の問題点を、その都度各部署から挙げていただき、本委員会で検討のうえ、S.E を通じて修正することにより病院業務が円滑に行えるようにしています。

1 月には電子カルテのレベルアップが行われ、皆様の御協力により円滑に終了いたしました。

今後も引き続き井田病院のシステム諸課題について、改善に向かうよう検討を行ってまいります。

(文責 委員長 [糖尿病内科部長] 金澤 寧彦)

21 医療情報システム安全管理部会

2023 年 8 月に立ち上げた医療情報システム安全管理部会は、各部門からシステムに関連する職員が集まり、サイバーセキュリティ対策についての会議等を行っています。

2024 年度は 10 回部会を開催し、電子カルテシステムに障害が発生した際の緊急連絡体制図作成や、サイバーインシデント発生に備えた事業継続計画（BCP）の作成及び事業継続計画を使用した机上訓練の実施等を行いました。

また、2024 年度はシステムのサイバーセキュリティ対策として、電子カルテ等のバックアップデータ外部保管や、画像バックアップ装置、ふるまい検知システム等の導入を行い、部会での情報共有及び経営層への報告を行いました。

今後も引き続き、井田病院のサイバーセキュリティ対策について検討を行ってまいります。

(文責 書記 [医事課] 水谷 大矢)

22 診療録管理委員会

2012 年度に診療情報管理委員会の部会として組織されていた診療録管理部会は、2013 年度から委員会に昇格して活動を開始しました。

2024 年度は、委員会を 4 回開催しました。

前年度に引き続き、電子カルテ内に新規登録や変更を提案された帳票の承認、修正などの審査を行いました。また、説明書・同意書の運用変更並びに同意撤回書の新規運用について、医療安全管理室と連名で院内周知文を作成し、関係者に配布しました。

特に今年度は、2025 年 6 月に受審予定の病院機能評価に向けて、医師向けに診療録記載の手引きの作成、多職種による質的点検、電子カルテにカンファレンス記録と I C 記録の記載用テンプレートの整備等、委員会として入念に準備しました。今回から、機能評価のチェック項目にカルテレビューが追加となったため、対象となる症例の記載事項に不備があった場合の対応や、受審日に向けた多職種連携等、対策についても議論を重ねました。

来年度も、今年度に引き続き、委員会として病院機能評価に向けて、万全の体制の臨めるよう関係部署との連携を強化するとともに、診療録記載の手引きを活用した医師による診療録相互監査を行い、診療録記載の水準を向上し、高評価を得られるよう果敢に取り組む所存です。また、量的点検や多職種による質的点検についても、点検項目の見直しや参加する職種の拡充を検討します。さらに、来年度実施が想定される適時調査に向けて、入院診療計画書やサマリーの適切な作成について議論する等、委員会としても積極的に活動をしていく予定です。

(文責 委員長 [糖尿病内科部長] 金澤 寧彦)

23 救急医療運営委員会

当委員会は、突然の傷病で救急搬送される方や、緊急受診される方や、あるいは院内で急変される方に迅速に対応し応急処置を提供するため、救急センター（救急総合診療センター）を基軸とした救急医療体制を構築・整備することを目的として設置しています。

救急センターは開設から 10 年目となり、2024 年 10 月からは、救急医療の取り組みの充実や強化を図るため、救急センターの責任者として田熊が市立川崎病院より本務として赴任し、引き続き、当委員会の委員長も務めています。

当委員会は、医師や看護師をはじめとする多職種により構成され、毎月第 2 水曜日に開催されており、診療科間の協力体制の構築、救急教育や研修会の企画、救急隊や災害時医療等委員会との連携による情報提供や課題の検討等を行っています。

2024 年度においては、当委員会の部会である救急診療プロジェクト部会や院内救急部会等による「内科医師向け気管挿管研修」、「人工呼吸器の簡易マニュアルの作成」、「若手医師向けの HCU オーダーセットの作成」、「小児用救急カートの整備」等を行い救急医療の充実を図りました。

市立川崎病院との連携強化や 2020 年度からの準夜強化体制、2023 年 10 月から本格稼働した中原区・二次救急当番制により、2024 年度の救急車応需数は 3,216 件（2023 年度 3,152 件）と増加しています。

今後も「断らない救急」の確立に向けて、救急医療体制の構築・整備に努めてまいります。

(文責 委員長 [救急センター長] 田熊 清継)

24 当直検討部会

当直検討部会は、2019 年度に「当直業務の課題解決に向けた検討会」として立ち上げられ、当直時間帯における運営方針や協力体制、院長代行の業務などについて検討を行い、「当直業務に関する合意事項」を定めるなど、当直業務に関する様々な諸課題の解決に向けて関係者による協議を行ってきました。2020 年度からは救急医療運営委員会の部

会として正式に院内委員会組織に位置付けられました。

2024年度は全6回の部会を開催し、当直を行った医師からの指摘事項や課題に対して検討し、課題改善に向けた取り組みを行ってきました。

今後も引き続き、当直業務の様々な諸課題について、改善に向けて協議を行ってまいります。

(文責 書記 [医事課] 鹿島 倫江)

25 院内救急対応部会

毎月第2火曜日を定例日として開催しています。救急部会は救急医療運営委員会に所属する部会であり、医師および各部署から選出された看護師により構成されています。予期せぬ急変が起きた事例などを取り上げ、グループに分かれて分析を行い、どのような対策が取ることができるか、どのような教訓が得られるか検討を行っています。また、必要に応じて急変対応において重要となる知識やスキルについて学びを深めています。さらに、救急部会のメンバーが中心となって全職員BLS研修を進めています。当院の救急医療の質を向上させるべく活動を続けていきます。

(文責 救急部会長 [呼吸器内科副医長] 中垣 達)

26 RST(呼吸サポートチーム) 部会

毎週木曜日の10時より、呼吸器専門医1名、クリティカルケア認定看護師2名、ME 1名、PT 1名で、人工呼吸器及びネーザルハイフロー装着患者のラウンドを行いました。ケアや治療についてのアドバイス、器機の安全管理についての指導を実施しました。また、呼吸器以外の重症患者について、看護師や医師から質問を受けることが多くなったため、2023年12月より、CCOT (critical care outreach team) として同時間・同メンバーで活動することになりました。看護師が「何かおかしい」と感じた患者は、実際に急変の予兆であることが多く、治療方針やケアの変更により良好な状態と変化したり、ご家族への病状説明のタイミングを逃さないことにつながりました。

メンバー全員が医療機器委員会主催の人工呼吸器研修の講師をつとめました。今後は、ラウンド内容を振り返り、学会発表等に取り組んで参ります。

(文責 看護師長 宮崎 奈々)

27 災害時医療等委員会

毎月第2木曜日を定例日として開催し、災害時医療に関する事項について約55名の委員で協議、検討しました。

当院は、2022年7月1日付で神奈川県「災害拠点病院」に指定され、災害時に担う役割が大きくなっております。

2024年度の主な実績としては、①災害医療訓練の実施、②消防訓練の実施、③県内医療機関間での情報伝達訓練等の通信訓練の実施、④災害対策マニュアルの追加、⑤災害時に備えての物品購入等があります。当委員会では今後も、多くの訓練や研修会等を通じて、更なる災害時医療の強化に努めてまいります。

(文責 書記 [庶務課] 前田 友香恵)

28 DMAT 部会

DMAT とは、医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

当院は、2022年7月1日付で「神奈川 DMAT 指定病院」に指定され、災害時における迅速な医療体制の充実強化が求められています。

当部会は、2023年4月に、災害委員会の下部組織として設置されました。DMAT 隊員を中心とした約15名の委員で構成し、毎月第1木曜日を定例日として、2024年度は12回開催しました。主な活動としては、物品購入の取りまとめ、各種訓練に向けた計画立案や結果の検証等を行いました。災害発生時に迅速に対応すべく、災害対策マニュアル等を見直し、より現場に即した作成を行っています。

今後も、災害時医療をさらに強化すべく、委員会とも連携しながら活動してまいります。

(文責 書記〔庶務課〕 前田 友香恵)

29 地域連携委員会

地域連携委員会は、「当初、地域の医療機関との連携、支援を推進する。」ことを目的として、2014年度に発足しました。2023年3月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けました。

2024年度は、全4回委員会を開催し、①紹介・逆紹介患者数 ②紹介率・逆紹介率 ③診療情報提供料 ④入院支援に関わる診療情報算定実績 ⑤戦略的クリニック訪問等について、協議、検討しました。

(文責 委員長 小杉 道男)

30 地域がん診療連携拠点病院推進委員会

地域がん診療連携拠点病院推進委員会は、「地域がん診療連携拠点病院として体制を整備し、推進する。」ことを目的として、2014年度に発足しました。

2024年度は、全6回委員会を開催し、地域がん診療拠点病院の指定要件に規定される診療実績、がんサロンの運営やがん相談センターアンケートの実施等について検討、協議しました。

(文責 委員長 嶋田 恭輔)

31 キャンサーボード

キャンサーボードとは、多職種のプロが集まり患者さんの治療方針を多方面から考え決定する会議です。2014年以前は、基本的には単科のみで治療方針を決定し、疾患自体が多臓器にわたる場合のみ複数科の医師で集まって治療方針を決定しているにすぎませんでした。しかし、2014年度からは、各科のカンファレンスになるべく複数の科の医師が参加するようにしただけではなく、看護師や病理検査、放射線診断部門など多部門で治療を検討できるようにしました。また、最初の治療のみならず治療の過程における二次治療決定をも、一時治療評価後にしっかりと検討していくように組織化されました。病理組織像を検計材料に取り入れている、臨床病理キャンサーボードも呼吸器センターや消化器センターが取り入れ、これまで実施してきております。

今後も、院内の多職種連携をつよめ、診療の質向上に取り組んでいきたいと考えます。

① 病院全体キャンサーボード

多臓器にまたがる症例や原発不明癌、特殊な生物学的進展を示すものを複数科の医師および他職種で話し合う最も大きなキャンサーボード。病理検査部や放射線診断部も参加する。年1～2回開催。

② 部門臓器別キャンサーボード

それぞれのセンターあるいは診療科を中心に行うが、その他に診療科例えば放射線診断部や緩和ケア科を巻き込み、また看護師・薬剤師・栄養士などの多職種も参加し、多方面からの検討を行う。

2-1 消化器キャンサーボード (原則2回/週)

外科の手術前に消化器悪性腫瘍の患者、また消化器内科で診療中の患者につき多職種で検討。また病棟入院後の悪性腫瘍患者についても多職種で集まって治療方針を検討している。

- 2－2乳癌がんセンターボード（原則1回／週）
- 2－3呼吸器がんセンターボード（原則1回／週）
- 2－4化学療法センターがんセンターボード（原則1回／週）

外来通院中の化学療法の患者について多職種で検討している。

② 臨床病理がんセンターボード

- 3－1消化器センター臨床病理がんセンターボード
- 3－2乳癌臨床病理がんセンターボード
- 3－3呼吸器センター臨床病理がんセンターボード

（文責 腫瘍内科部長 西 智弘）

32 化学療法管理委員会

2024年度は月例として8回開催し、新規・変更レジメンの審査、承認を行いました。2024年3月末で、10診療科から約346レジメンが登録されています。例年通り「CVポートに関する研修会」、「曝露対策とルート管理に関する研修会」、「抗がん剤の血管外漏出に関する研修会」を開催し、院内スタッフの知識と技能の向上を図りました。がん化学療法関連の院内マニュアルの内容を見直し、最新のエビデンスに基づいた内容に変更しました。

委員会で承認されたレジメン及び、抗がん剤投与に関するマニュアルは、電子カルテシステムの初期画面に掲載しているため、どの職種でも閲覧可能です。2022年度より化学療法関連マニュアルをマニュアル関連フォルダー一箇所に踏襲し、血管外漏出等の緊急時によりアクセスしやすいよう改めました。また、レジメンについては井田病院ホームページにも掲載しています。

（文責 書記 [薬剤部] 内田 昌）

33 クリニカルパス委員会

本委員会は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、医事課等の委員で構成され、新規クリニカルパス（以下パス）の立案や評価、運用中パスの問題点等を検討しています。

2024年度は眼科より1件の新規申請があり、承認となりました。患者用パスについては見直しを行い、123件の患者用パスを修正しました。現在169種類のパスがあり、2024年度は114種類のパスの稼働がありました。院内全体のパス適用率は33.7%でした。委員会では目標である院内パス適用率40%以上を目指し、今後も新規パスの立案、質の向上を図って参ります。

（文責 書記 [医事課] 高橋 さおり）

34 褥瘡対策委員会

2024年度は、奇数月に多職種で定例会議を開催し、3班に分かれ活動しました。班ごとにテーマを決め、15分間のミニレクチャーを委員会の中で実施しました。①栄養補助食品の製品と特徴について、②スキンケアと移乗について、③創傷被覆材について、をテーマにあげ多職種で取り組みました。また、医師へスキンケア対応についてのアンケートを実施し、その結果から今後の課題を共有することができました。

偶数月には、リンクナース会を開催し、手術に関連したDTIの褥瘡発生事例に対し、文献を用いた要因や予防策の検討を行いました。検討内容を委員会ですらに多職種で共有することにより、学びが深まりました。

全職員向けのワークショップ型の研修会「スキンケアを予防するトランスを学ぼう」を2月6日、3月6日の2回開催し、49名の参加がありました。

チームラウンドとして、褥瘡回診を毎週木曜日午後に実施しました。今年度の褥瘡推定発生率は1.3%、推定有病率は5.16%、院内発生件数は94件（昨年度比8件減）でした。

（文責 副委員長〔看護師長〕大溝 茂実）

35 NST(栄養サポートチーム)運営委員会

入院患者個々の症例・病態に応じて適切な栄養管理を実施することを目的とし、2005年度2月よりNST運営委員会を立ち上げました。2011年2月に栄養サポートチーム加算の施設基準を届出、2011年3月から加算の算定を開始しました。2024年度は専任の医師2名、看護師2名、薬剤師4名、管理栄養士1名、+歯科医師の体制で回診を行いました。管理栄養士においては業務の拡充、見直しにより2022年度より専従から専任となり、1日15人以内の介入となりました。また、歯科医師が回診に参加することにより2016年度から新設された歯科医師連携加算（50点）を2018年度より算定開始しています。2020年度の診療報酬改定にて、条件付きではありますが結核病棟における加算も認められ、回診を行っています。

現在、毎週火曜日に回診・カンファレンスを実施し、低栄養患者への介入だけではなく、経腸栄養療法患者の栄養管理、手術予定者、抗がん剤治療予定者の栄養低下の予防のための介入も行っています。介入の結果、経口摂取だけではなく、経腸栄養や静脈栄養に関する介入が増加しています。

院内スタッフに向けては院内勉強会を5回開催し、知識の向上を図りました。参加者は延べ262名でした。

回診患者数（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
66	50	55	65	52	58	67	49	49	41	40	51	643
62	46	53	56	45	50	61	48	47	41	39	45	593

（文責 委員長〔リウマチ膠原病・痛風センター所長〕栗原 タ子）

（嚥下・口腔サポートチーム部会）

NST運営委員会の委員会内組織として活動を継続しました。全入院患者への質問紙による嚥下スクリーニング検査・口腔アセスメント（OHAT-J）の実施とプロトコールに応じた改訂水飲みテストの実施を継続して行いました。これにより看護師による嚥下障害患者の早期発見と多職種による早期介入が可能となっています。またチームでの嚥下障害患者への関わりとして、嚥下機能回復体制加算を485件算定できました。今後も多職種連携による嚥下障害患者へのケアの質の向上に努めていきたいと考えます。

（文責 リハビリテーション技術科長 谷内田 綾）

(摂食嚥下班)

NST 摂食嚥下班では、リンクナースの育成と多職種チームとの連携強化を図り、患者ケアの質向上を目指し取り組みを行いました。

各リンクナースが班活動として、食べるにつなげるケアと口腔内環境改善にむけて年間を通して活動し、事例の振り返りや学習会の開催を行い、役割を遂行しています。全入院患者の栄養・摂食嚥下障害に対して実施しているスクリーニングの精度を高め、早期のケア介入とケアの質向上にむけて多職種と連携し実施していきたいと考えます。

(文責 看護部 白井 直子)

36 給食委員会

給食委員会は隔月第3木曜日に開催し、2024年度は6回開催しました。

委員の構成は医師4名、看護師1名、栄養士5名、オブザーバー給食委託業者2名の計12名となっています。

栄養管理の向上と充実、適正な病院食運営を図る目的で協議しました。毎回、検食率、検食簿記載内容と記載内容への対応を報告、給食材料費や患者給食数・栄養指導件数、給食業務委託状況、誤配膳や異物混入などのインシデントを報告しました。

嗜好調査の実施案を検討、10月に実施した食事アンケート結果を報告しました。「満足している」と回答した人の割合が昨年度35.3%であったのに対し、今年度は41.9%と増加し、「満足していない」の項目については、昨年度20%であったのに対し、今年度は9.7%と満足度の向上がみられました。

主食に関して、「おいしい」と回答した人の割合が昨年度の43.5%に対し、今年度は24.2%と減少がみられた。米の価格が高騰しているが、給食材料費の予算内で可能な限り品質を落とさないようにし、炊き加減など調整していきたい。

今後も要望等を検討し、献立作成に反映させ、よりよい食事を提供することで患者の満足度を向上させるよう努めていきたいと思います。

(文責 副委員長[食養科長] 北岡 聡子)

37 職員研修委員会

当委員会は、教育研修に関する企画、実行、評価による職員の資質の向上を目的に5回開催し、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、言語聴覚士、臨床工学技士、図書館司書、事務職員で構成されています。2024年度の取組として、研修紹介シートによる各部門の研修の概要報告及び意見交換、医師看護師研修室における資機材の管理に係る検討、医療器械の購入に係る審議・検討、病院局人材育成計画の取りまとめ等を行いました。

(文責 書記[庶務課] 府中 仁)

38 研修管理委員会

当委員会は、初期臨床研修の企画立案、運用管理を目的に2回開催し、初期臨床研修医勧誘イベントの実施結果、初期臨床研修医マッチング結果、基本的臨床能力評価試験結果等の報告や初期臨床研修医のプログラム修了判定を行いました。

2024年度の初期臨床研修医2年目は、岩科櫻子先生、小川茉里奈先生、清水京先生、永塚杏先生、前田春乃先生の5名、1年目は、菊池淳先生、白川紘大先生、畑中さくら先生、馬場香菜子先生、福井篤先生の5名と、慶應義塾大学病院の地域―大学循環コースの永山ひかり先生、星野絵里先生の2名でした。

(文責 書記[庶務課] 府中 仁)

39 看護師特定行為研修部会

看護師特定行為研修部会は、看護師が特定行為を実施する上で必要となる手順書の作成や特定行為研修修了者の支援を行っています。2024 年は、すでに特定行為研修を修了している 5 名の認定看護師が活躍するためのシステム構築のため、部会を 3 回開催しました。部会で様々な検討を行った結果、実施する特定行為と手順書の見直しを行い、1 名が診療部の協力のもと、実施する手技の訓練を開始することができました。また、糖尿病看護認定看護師養成課程 (B 課程) を修了した看護師も 1 名増えました。

今後も特定行為研修を修了した認定看護師が活躍できるよう、診療部をはじめとした多職種で検討していきます。

(文責 委員長 [副院長] 鈴木 貴博)

40 図書委員会

図書委員会は、医療情報の収集及び提供をはかり、職員の日常業務の向上に資する適切な図書室運営を推進するために設置されました。

2024 年度は計 6 回の図書委員会を開催し、各部署から挙げて頂いた購入希望図書・雑誌・各種データベース等について協議しました。EBM ツールについて、今まで医師向けの「UpToDate Advanced」「DynaMed」(英文) を契約しており、メディカルスタッフ向けのコンテンツはない状態が続いていましたが、南江堂の「最新の臨床 WEB」(和文) を検討、トライアルを経て導入となり、Web が接続できる端末であればどこでも職種を問わず EBM 情報にアクセスできるようになりました。

今後も当委員会は皆様の教育・研究支援をしてまいります。どうぞご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(文責 委員長 [糖尿病内科部長] 金澤 寧彦)

41 機種・診療材料選定委員会

当委員会は、医療機器の仕様の決定や診療材料の採用に関する審議を行っています。

2024 年度の委員会の開催と、審議を経て購入した機器、採用した診療材料は次表のとおりです。

(文責 [庶務課] 山本 達也)

回	月時	医療機器の機種選定		診療材料の審議	
		番号	機器名	番号	診療材料名
第 1 回	4 月 24 日	1	内視鏡下手術支援ロボット装置	1	EMG 電極
第 2 回	4 月 26 日	1	注射薬自動払出装置		<なし>
		2	調剤支援システム		
		3	上部消化管ビデスコープ		
		4	超音波ガストロビデスコープ		
第 3 回	6 月 17 日	1	全自動抗酸菌培養検査装置	1	Vivinex Impress
第 4 回	8 月 19 日	1	全自動尿分析装置		<なし>
		2	微生物同定感受性分析装置		
		3	自動視野計		
		4	レゼクトシースセット		

第5回	10月21日	1	整形外科用パワーツール	1	FreeStyleリブレ2 Reader & センサー
		2	超音波診断装置（検査科分）	2	トライステープラEEA 25、28、31
		3	超音波診断装置（乳腺外科分）		
		4	全身麻酔器		
		5	透析液供給装置		
		6	ベッド		
第6回	11月18日	1	総合臨床検査システム ランサムウェア対策機能追加		<なし>
		2	輸液ポンプ		
		3	ネイザルハイフロー		
第7回	12月16日	1	高周波手術装置	1	Powered ECHOLON FLEX 3000 シャフト 28cm 縫合長 60mm
				2	Echelom ENDOPATH Stapleline Reinforcement
第8回	1月20日	1	調剤支援システム一式		<なし>
第9回	2月17日	1	X線骨密度測定装置		<なし>

42 市民交流・サービス向上委員会

本委員会はボランティア活動を支援し、患者サービスの向上、療養環境の向上や市民の方々との交流を図る事を目的として「教育・調査班」、「投書検討班」、「院内環境改善班」、「ボランティア班」の4つのグループ体制で、次のとおり活動を行いました。

1 教育・調査班

(1) 待ち時間調査担当

外来診療・会計待ち時間調査を2回実施しました。

ア 外来診療待ち時間調査

実施日	2024年7月1日から5日	2024年12月9日から13日
平均対象者数	361人	443人
平均待ち時間	15分16秒	15分51秒

イ 会計待ち時間調査

実施日	2024年7月1日から5日	2024年12月9日から13日
平均対象者数	322.6人	370.2人
平均待ち時間	14分51秒	15分2秒

(2) 満足度調査担当

外来・入院患者・職員満足度調査を実施し、3月に満足度調査報告会を行い、院内職員に対して報告しました。

対象者	外来患者	入院患者	職員
実施期間	2024年11月11日、12日、14日	2024年11月1日から11月30日	2024年11月1日から11月30日
回答率	99.8%	57%	74.2%
総合満足度 (とても満足+やや満足)	74.8%	75.3%	32.6%

2 投書検討班

・毎週火曜日に外来、各病棟フロアに設置している投書箱から投書を回収し、水曜日の午後に会議を開催しました。頂いたご意見は担当部署に回答や対応を依頼するとともに、三役会議にも投書内容を伝え、当委員会内で共有し回答を返書又は院内に掲示しました。

3 院内環境改善班

- ・院内・院外の環境の整備と病院利用者の視点で院内の快適性を配慮し、安全で安らぎの療養環境を提供することを目標に活動し、院内の掲示物や清掃の点検を行いました。
- ・12月4日には職員による病院周辺の美化活動を実施しました。
- ・川崎市制100周年記念事業であるフラワーヒルプロジェクトにちなみ、外来エリアの道路に面した窓にミニグリーンカーテンを設置しました。

4 ボランティア班

- ・「ほっとサロンいだ」を再開いたしました。
- ・ボランティアとの意見交換の場であるボランティア会を、3回（7月・11月・3月）開催しました。

<年間行事>

5月	院内コンサート（東京交響楽団）
7月	七夕笹飾りつけ
9月	院内コンサート（マリンバ）
10月	院内コンサート（かわさきジャズ）
12月	クリスマスの飾りつけ
1月	お正月の飾りつけ
2月	院内コンサート（ハープとクラリネット）
3月	吊るし雛の飾りつけ

（文責 委員長〔副院長〕篠山 薫）

43 ホームページ・広報委員会

ホームページ・広報委員会は、井田病院に関する情報を市民等に広報することを目的として設置しています。所掌事務は、ホームページの管理・運営等に関する事、病院広報誌「井田山」の発行に関する事、病院の広報に関する事です。市民や医療従事者等に向け、正確かつ分かりやすい情報提供を行えるよう定期的にホームページの保守管理及び更新を行っています。また、井田病院の情報をタイムリーに提供するため、委員で活発な情報収集と検討を

行い、情報の発信を適時行っています。

2024年度は委員会を4回開催し、病院広報誌「井田山」は4回発行しました。

号数	発行日時	ページ数	主な記事
第82号	4月30日	4	○新副院長のご挨拶 ○新任医師紹介 ○能登半島地震に伴う被災地派遣 ○のらぼう菜の提供 ○モニュメントの設置 ○患者満足度調査の結果
第83号	7月31日	4	○地域医療支援病院になりました ○市民公開講座のお知らせ ○『ほっとサロン井田』リニューアルオープン ○看護の日 ○院内コンサートを実施しました ○市内産野菜を提供しました ○食中毒に注意 ○熱中症対策
第84号	10月31日	4	○そこだけドック ○異動・新任医師紹介 ○災害訓練を実施しました ○多摩川梨を提供しました ○院内コンサートを開催しました ○グリーンカーテンを設置しました ○橘ふるさと祭りに参加しました
第85号	1月24日	4	○病院長年頭のご挨拶 ○健診を受けましょう ○市民公開講座のお知らせ ○病院食で市内産野菜のブロッコリーを提供しました ○市内産ブロッコリーを提供しました ○消防訓練を実施しました ○インフルエンザ・ノロウイルスに注意しましょう ○糖尿病なんでもQ&A ○美化活動を実施しました

(文責 書記〔庶務課〕前田 友香恵)

44 臨床検査管理委員会

2024年度の当委員会は、1回(6月)開催されました。委員会では、医師・看護部および検査科が密に意見を交わし、院内検査体制や検査運用の見直しについて協議を行いました。

おもな検討内容は下記のとおりです。

- 昨年12月より導入された共用基準範囲の運用について、臨床現場での不都合の有無を確認し、引き続きの使用継続が承認されました。
- 百日咳検査および院内での新型コロナウイルスPCR検査については、検査件数の減少および検査キットの有効期限の観点から、感染症内科医師の意見をもとに、院内検査を中止し必要時には外注対応とすることが承認されました。

また、報告として、7月初旬の循環器科医師の不在に伴い、一部期間の心エコー報告の遅延が生じる可能性について報告し、対応について協議しました。

今後も本委員会を通じて、関係各部門との連携を深めながら、より質の高い医療提供と効率的な検査運用体制の構築に努めてまいります。

(文責 医療技術部臨床検査科長 佐野 剛史)

45 外来診療委員会

外来診療委員会は、外来運用の安定稼働や患者サービス等の外来診療環境の向上を図ることを目的として設置しています。

2024年度は2月に1回開催し、休診時の運用について、電子処方箋の運用開始についてなど外来診療に係る諸課題について改善に向けて検討を行いました。

当委員会では、今後も引き続き、外来診療に係る様々な諸課題について、改善に向けて検討を行ってまいります。

(文責 書記 [医事課] 高橋 さおり)

46 手術部委員会

手術部委員会は医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士、薬剤師、中央滅菌室、庶務課、医事課、SPDのメンバーで構成され、手術室における物品管理や滅菌管理を含む様々な課題に対応しております。今年度から手術室におけるインシデントを周知することになりました。

審議・報告事項としては手術件数、オープン枠使用状況、使用期限切迫品の報告の他、手術枠・放出枠、術前外来、手術部位マーキング、輸血の常備数、予算申請医療機器、手術室統計がありました。

(文責 [麻酔科部長] 中塚 逸央)

47 HCU 委員会

当委員会は医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士、管理栄養士、庶務課、医事課、SPDのメンバーで構成され、偶数月に開催しており、稼働状況の報告とともに入退室基準等、HCUについての様々な課題について検討を行い、HCUの円滑な運営に努めています。

本年度は診療報酬改定に伴うHCU用の重症度、医療・看護必要度の見直しに対応するため、開催頻度を増やして協議しました。その結果ハイケアユニット入院医療管理料1を算定することができました。

その他は早期栄養介入管理加算の取得状況について報告がありました。

2024年度の具体的なHCUの運営状況につきましては「集中治療室」の項をご覧ください

(文責 委員長 [麻酔科部長] 中塚 逸央)

48 院内がん登録運用委員会

「院内がん登録」とは、国が定める「がん登録等の推進に関する法律」に基づき、外来、入院を問わず、当院で初診で診断、治療の対象となった悪性新生物と一部の悪性以外の新生物に対して、情報を収集し登録する仕組みです。

「地域がん診療連携拠点病院」である当院では必須要件として、毎年、「院内がん登録」業務を行い、作成したデ

ータを院内がん登録データ、全国がん登録データとしてそれぞれ国と県へ提出しています。2024 年の院内がん登録件数は、1,105 件で、予後調査は560 件実施しました。

「院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行う機関」として本委員会は設置し、今年度は1 回開催しました。委員会では、昨年度整備し承認した研究者等が、がん対策の立案、調査・研究の目的で、院内がん登録データを利用（二次利用）する場合に、患者等が拒否（オプトアウト）の申出を行う窓口運用に関し、Q I 研究に係るデータも対象であることを確認しました。さらに、二次利用の拒否（オプアウト）についても、撤回が可能であるため、院内がん登録二次利用についてのオプトアウト同意撤回書を整備し承認としました。

《院内がん登録に関する実績》

	2022 年	2023 年	2024 年
院内がん登録件数	1,166	1,190	1,105
予後調査件数	501	501	560

来年度も、引き続き「院内がん登録運用マニュアル」に則ったがん登録の実施、他病院と比較した井田病院のがん診療における立ち位置に加えて、適切な院内がん登録業務運用についても、委員会で議論を行ってまいります。

（文責 委員長[副院長] 鈴木 貴博）

49 地域包括ケア病棟運営委員会

地域包括ケア病棟は、急性期医療が終了した後に、リハビリテーションや訪問介護指導等を行い、在宅療養への退院支援を目的として2016 年4 月に開設され、2016 年11 月1 日から、地域包括ケア病棟入院料2 を算定する病棟として正式運営となり、今日に至っています。

2024 年度は委員会を6 回開催しました。令和6 年度診療報酬改定で65%未満の院内転棟率及び72.5%以上の在宅復帰率などの変更があり、直接入院患者の増加、病床稼働率の上昇、一般に入院した患者の適切な転棟のタイミング及び入院期間の共有、どのような患者を受け入れればよいかなどについて議論を行いました。また、地域包括ケア病棟運営ガイドラインの改訂を行い、現行の運用に合致した条文の追加及び修正を実施しました。また、地域包括ケア病棟 適応患者一覧の改訂案（次年度改訂予定）を作成しました。施設基準より、リハビリテーションを提供する患者については一日平均2 単位以上を提供する必要があるため、電子カルテの台帳で転床の患者の適応を多職種で共有できるように整えました。また軽度の誤嚥性肺炎、尿路感染症、心不全などの疾患を対象患者に追記しました。

今後とも地域との架け橋となる病棟として、近隣の病院や地域の開業医、訪問介護ステーション等と協力して、在宅療養の実現に向けた地域包括ケア病棟の運用を行っていきたいと考えております。

（文責 委員長[リハビリテーション科・脳神経外科担当部長] 三島 牧）

<地域包括ケア病棟施設基準に関する実績>

1 リハビリの実施状況（対象者の状況）

	対象患者 実数	延べ 対象期間	実施単位数	平均単位数	平日一日の 平均対象者数
4月	14	170	472	2.78	6.8
5月	19	195	695	3.33	7.4
6月	21	290	852	2.70	13.2
7月	19	342	1,028	3.03	11.0
8月	11	158	512	3.26	6.1
9月	6	64	208	3.22	2.8
10月	12	185	622	3.35	7.2
11月	11	134	341	2.81	5.7
12月	10	124	339	2.67	5.2
1月	57	1,279	780	1.82	29.7
2月	27	426	1,098	2.52	19.4
3月	30	392	1,058	2.92	13.1

施設基準：平均単位数2単位以上

3 重症度、医療・看護必要度

	7対1 病棟群	4西のみ 地域包括基準
4月	27.9%	15.7%
5月	30.8%	12.2%
6月	23.2%	16.1%
7月	23.6%	12.8%
8月	23.6%	9.0%
9月	23.2%	8.8%
10月	23.2%	9.0%
11月	25.5%	7.3%
12月	28.7%	22.3%
1月	24.0%	26.4%
2月	25.1%	13.5%
3月	25.3%	12.2%

施設基準：8%以上(地域包括ケア病棟)

2 在宅等に退院したものの割合

	1か月	6か月	退院者数
4月	87.8%	80.3%	42人
5月	76.6%	79.3%	47人
6月	76.7%	75.4%	49人
7月	91.9%	74.5%	41人
8月	93.6%	76.6%	48人
9月	76.1%	77.2%	47人
10月	92.3%	78.8%	29人
11月	87.5%	81.8%	38人
12月	83.7%	83.3%	58人
1月	78.9%	81.1%	55人
2月	66.7%	76.8%	43人
3月	67.5%	72.6%	46人

施設基準：72.5%以上

4 病床稼働率

	入院患者延数	一日平均 患者数	稼働率	在院日数
4月	1,133	37.8	83.9%	23.2日
5月	1,012	32.6	72.5%	20.1日
6月	1,010	33.7	74.8%	19.2日
7月	1,149	37.1	82.4%	24.9日
8月	1,119	36.1	80.2%	21.6日
9月	769	25.6	57.0%	17.8日
10月	746	24.1	53.5%	21.7日
11月	837	27.9	62.0%	20.5日
12月	1,141	36.8	81.8%	17.3日
1月	1,259	40.6	90.3%	19.4日
2月	1,128	40.3	89.5%	25.5日
3月	1,107	35.7	79.4%	23.8日

稼働率：80%以上

5 認知症等の患者の割合

	延べ患者数	認知症等の 患者数	割合(%)
4月	1,089	348	32.0%
5月	963	381	39.6%
6月	961	297	30.9%
7月	1,108	391	35.3%
8月	1,071	542	50.6%
9月	722	378	52.4%
10月	717	232	32.4%
11月	799	245	30.7%
12月	1,083	409	37.8%
1月	1,204	413	34.3%
2月	1,085	472	43.5%
3月	1,061	464	43.7%

施設基準：30%以上

認知症等の患者の割合：重症度、医療・看護必要度のB項目(14・15)を満たす患者

6 外部からの受け入れ割合

	他病院から	レスパイト	合計	割合(%)
4月	4	8	12人	26.7%
5月	5	9	14人	31.1%
6月	7	9	16人	35.6%
7月	4	8	12人	26.7%
8月	5	12	17人	37.8%
9月	4	3	7人	15.6%
10月	3	9	12人	26.7%
11月	6	5	11人	24.4%
12月	7	12	19人	42.2%
1月	10	5	15人	33.3%
2月	6	7	13人	28.9%
3月	4	6	10人	22.2%

割合の分母は病床数(45床)

<地域包括ケア病棟への転入実績>

1 病棟別転入件数

病棟名	3西	4東	5西	5東	6東	7西	PCU	合計
件数	20	86	10	81	65	55	0	317

2 診療科別転入件数

診療科名	内科	呼吸器内科	腎臓内科	糖尿病内科	消化器内科	血液内科	循環器内科	リウマチ科	緩和ケア内科
件数	54	58	35	9	57	0	12	35	6
診療科名	外科	乳腺外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	救急科	合計
件数	1	0	46	3	0	0	0	1	317

50 緩和ケア委員会

緩和ケア委員会は、「緩和ケアの提供、運用が適切、円滑に行われるよう体制の整備、推進を図る」ことを目的として、2017 年に発足しました。2022 年度からは、緩和ケア研修会、緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会、かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の準備・運営を緩和ケア委員会が担い、2024 年度は緩和ケア委員会を 6 回実施しました。今後も、緩和ケア全般の課題や問題点等を検討し、さらに、研修会の講師に外部講師を増やし、地域との連携を進めていきたいと思っています。

1 研修内容

(1) 緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修

この研修会は、より実践的に緩和ケアについて学ぶことができる内容で、2024 年度は 3 回開催し、院内外から延べ 127 名の参加がありました。

開催日	テーマ	参加数
5 月 18 日 (木)	がん患者の疼痛管理	56 名
9 月 19 日 (木)	緩和的鎮静	45 名
1 月 16 日 (木)	ACP (Advance Care Planning)	26 名

(2) かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会

この症例検討会は、地域のニーズに踏まえ地域ネットワーク作りを目指した内容で、2024 年度は 3 回開催し、院内外から延べ 94 名の参加がありました。

開催日	テーマ	参加数
7 月 18 日 (木)	障害のある患者さんの緩和ケア～命に関わるコミュニケーションの壁～	50 名
11 月 21 日 (木)	AYA 世代の力を信じて引き出す緩和ケア	20 名
3 月 19 日 (木)	事例検討～小学生の子供を持つ終末期癌患者の家庭内不和の対応について	24 名

(3) 緩和ケア研修会

緩和ケア研修会は、川崎市立川崎病院と共催で 12 月 15 日 (日) 井田病院で実施しました。

この研修会は、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠しており、研修修了者は厚生労働省より緩和ケア研修会修了証書が交付されます。院内より 8 人の参加があり、8 名全員が修了証書の交付を受けました。

(文責 委員長 [緩和ケア部長] 久保田 敬乃)

51 がんサポート・緩和ケア部会

2003 年より緩和ケアチームとして活動を始め、2009 年 6 月から専任医師・専任看護師が配置されました。地域がん診療連携拠点病院として、院内および地域のがん患者とその家族に対して、質の高い緩和ケアの提供をめざし「がんサポートチーム」の名称で活動しています。

2021 年 7 月より引き続き、専任医師として増田香織医師が配置されました。2024 年 10 月より専任医師として布間寛章医師が配置されました。専任看護師は、2019 年 4 月から引き続き、鈴木果里奈 (緩和ケア特定認定看護師) が配置されました。その他のチームメンバーは緩和ケア内科医、精神科医、薬剤師、栄養士、公認心理師、理学療法士が所属し、多職種が連携してチーム医療を提供しています。

がんサポートチームは、一般病棟に入院中の緩和ケアを必要とする患者を毎日回診し、週1回の多職種合同カンファレンスと回診を行っています。2024年度のがんサポートチームの依頼件数は337件でした。2012年から活動を開始した非がんサポートチームの依頼件数は51件でした。非がん疾患患者に対する緩和ケアは、行政の方針においても拡充が求められており、当院でもあらゆる疾患に対応しています。介入の内容は、疼痛緩和、その他の症状緩和、精神的ケア、家族ケア、当院緩和ケア病棟や在宅部門の訪問診療及び訪問看護の介入も含む療養場所の選択、意思決定支援など多岐にわたります。

国の指針である早期からの緩和ケアの推進を具体化させる手段として、2014年5月から緩和ケアに関するスクリーニングを開始しています。2024年度のスクリーニング件数は274件でした。がんと診断された時から患者が切れ目のないケアを受けられるように、がん看護緩和ケア班のリンクナースと協働し、スクリーニングの推進とがん看護・緩和ケアの質の向上のためさまざまな活動を行っています。さらに神奈川県がん診療連携協議会・緩和ケア部会では、県内の病院と緩和ケア提供体制について情報共有を行い、がん患者の療養生活の質の向上に努めています。

(文責 [がんサポートチーム専従看護師] 鈴木 果里奈)

52 病床管理運営委員会

今年度は、委員会の開催実績はありません。

今後も、病床管理運営要領に沿った適切な病床運用・管理を推進いたします。

(文責 書記 [医事課] 大谷 伸明)

53 ハラスメント防止対策委員会

ハラスメント防止対策委員会は、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止及び対策を講じることを目的に設置しています。開催は随時開催となっています。

2024年度は、職員から調査の依頼があり、ハラスメント防止対策委員会を開催しました。委員会では、ヒアリング、ハラスメントに該当するかの判定、課題整理、必要な介入を行いました。

今後も相談者のプライバシーに十分配慮し、委員会としての役割を担っていきたいと考えております。

(文責 委員長 [病院長] 伊藤 大輔)

54 糖尿病サポートチーム委員会

半田前糖尿病内科部長の時代に立ち上げられた糖尿病サポートチームは井田病院の糖尿病診療を支えてまいりましたが、2021年度より院内委員会の1部門として承認され、以前と同様に糖尿病療養指導の質の向上を図るべく活動しております。活動内容といたしましては、糖尿病診療機器、様々な教育用機器を利用した注射指導などの知識や経験の共有を昨年度に引き続き行いました。またサブグループ活動(院内広報、院外広報、医療者への糖尿病療養知識の教育)も継続しております。今年度は間食(おやつ)の取り方、運動の意義と実践に関する話題をテーマとして世界糖尿病デーのイベントを5年ぶりに施行いたしました。今年度も患者会のミニ講座開催を継続し、市民講座での糖尿病に関する話題提供を行う予定です。2024年度末にフットケア用の新規機器も導入し、次年度は糖尿病足病変の管理にも従来に増して力を入れて取り組んでまいりたいと考えております。引き続き療養スタッフの充実に力を入れ、時代の診療の流れに乗り遅れることなく活動して参りたいと思います。

(文責 委員長 [糖尿病内科部長] 金澤 寧彦)

55 認知症ケア運営委員会

認知症ケア運営委員会は2021年4月に院内委員会に設置されました。認知症ケアサポート医、認知症看護認定看

護師、作業療法士、ソーシャルワーカー、病棟リンクナースと連携し、院内の認知症ケアの向上のため、週1回のチーム回診を行っております。委員会は毎月第1水曜日に開催し、2024年度は11回開催しました。認知症患者の周辺症状やせん妄の対応について協議し、事例の検討やスキルアップのための勉強会を行いました。2024年度は新しく設置された身体拘束最小化チームとも連携し活動を行いました。今後も質の高い認知症ケアを提供できるように努めていきたいと思っています。

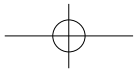
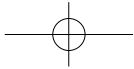
(文責 委員長[リハビリテーション科・脳神経外科担当部長] 三島 牧)

56 病院機能評価対策委員会

2025年6月に当院5回目となる病院機能評価受審に備えて、2024年8月に伊藤病院長、副委員長に田中良典事務局長、大溝茂美副看護部長、委員会事務局として川崎秀行庶務課担当課長と川尻 達庶務課業務改善係長、委員として診療科部長、看護師長、院内各部門責任者、庶務課、医事課等の合計48名のメンバーで委員会を立ち上げました。4つの領域それぞれに領域責任者と副責任者をおき、各委員には自己評価票を元に病院機能の問題点を把握し、改善するために必要なこと、現在実施している取り組み・または当院の強み等について一つ一つ確認してもらうとともに院内マニュアルの確認と見直し作業をお願いしました。同年10月10日には主要メンバーで同年2月に同じバージョン(3rdG; Ver. 3.0)を受審した川崎市立多摩病院を視察し同院の取り組みについて調査し当院の対策に活かすようにしました。特に多職種カンファレンスや診療科カンファレンスの記録を残すためのテンプレートや患者さんや家族に対するインフォームドコンセントに際して患者さんの受け止めも記載しる必要があるためテンプレートを作成して院内周知を行いました。ケアプロセスに介しては泌尿器科の小杉道男部長をリーダーに看護部や関連部門と共に準備を進め、本バージョンから新たに追加となったカルテレビューについては診療録管理委員会(委員長 糖尿病内科金澤寧彦部長)にて診療情報管理士の協力を得て準備を進めました。2025年3月10日に病院機能評価機構から模擬訪問審査(看護師サーベイヤ1名)を実施し、その指摘も踏まえて2025年6月16日・17日の本審査に向けて準備を進めました。

(文責 委員長 [副院長] 鈴木 貴博)

VIII 取得図書



1 利用統計(図書室所蔵資料等の統計)

1 単行書

単行書	冊数
洋書	212
和書	4626
計	4838

(2025年3月31日現在)

2 製本雑誌

製本雑誌	冊数
洋雑誌	848
和雑誌	1890
計	2738

(2025年3月31日現在)※製本は2020年度より廃止

3 相互貸借

申込件数	受付件数
68	321

(2024年 4月1日～2025年3月31日)

4 メディカルオンライン利用統計

PDFダウンロード件数	5417
FAX取り寄せ件数	5

(2024年 4月1日～2025年3月31日)

2 単行書受入

洋書 1冊
和書 274冊
視聴覚資料 21点
電子書籍 15冊

3 EBMツール

1 UpToDate Advanced
2 DynaMed
3 最新の臨床WEB
(2025年1月～3月)

4 文献検索ツール

1 医学中央雑誌Web
2 最新看護索引Web

5 電子書籍ツール

1 メディカルオンライン
イーブックスライブラリー

6 現行受入雑誌(洋雑誌)

1 JAMA
2 New England Journal of Medicine

・電子ジャーナルパッケージ (洋)

1 ProQuest Medical Database
2 Medline with Full Text
3 ClinicalKey

(和)

1 メディカルオンライン
2 医書jp

7 現行受入雑誌(和雑誌)

1 INFECTION CONTROL(感染対策室別置)
2 INNER VISION(放射線科別置)
3 Orthopaedics
4 Visual Dermatology
5 画像診断(放射線科別置)
6 クインテッセンス
7 クインテッセンス デンタルインプラントロジー
8 月刊ナースマネジャー
9 重症集中ケア
10 腫瘍内科
11 ソーシャルワーク研究(地域医療部別置)
12 日経ドラッグインフォメーション(薬剤部別置)
13 メディカル・テクノロジー(検査科別置)
14 レジデントノート
15 看護
16 看護人材教育
17 看護展望
18 緩和ケア
19 救急医学
20 月刊ナーシング

21 月刊新医療
22 消化器外科
23 心エコー(検査科別置)
24 全国自治体病院協議会雑誌 *
25 地域連携入退院と在宅支援
26 日本医師会雑誌 *
27 日本外科学会雑誌 *
28 日本透析医学会雑誌 *
29 日本病院会雑誌 *
30 日本臨床外科学会雑誌 *
31 病院安全教育
32 保健師・看護師の結核展望
33 臨床リウマチ *
34 臨床栄養(食養科別置)

*は寄贈雑誌

川崎市立井田病院年報

第 54 号 (2024 年度版)

令和 7 年 (2025 年) 12 月発行

編集・発行 川崎市立井田病院

〒211-0035 川崎市中原区井田 2 丁目 27 番 1 号

電 話 044 (766) 2188 (代)

F A X 044 (788) 0231